

公益財団法人長野県産業振興機構

令和4年度事業報告

令和5年5月

目次

法人運営	1
I 理事会の開催	1
II 評議員会の開催	2
III 内部統制に関する基本方針に基づく実施状況（令和4年度）について	3
事業内容	4
第1 企画連携事業	4
I 支援機関の連携によるイノベーション創出事業	4
II 企業の相談に迅速に対応しうる支援体制の構築	5
III 国際的産学官連携の推進	7
IV 地域社会課題の解決に向けた産業界等の取組促進	8
V 企業に役立つ支援PR・広報の強化	8
第2 新産業創出支援事業	9
I 次世代産業への支援	9
II IT産業への支援	16
第3 経営支援事業	19
I 相談支援	19
II 新産業創出・経営革新等支援	19
III マーケティング支援	21
IV 再生・承継支援	30
第4 地域センター事業	33
1 長野センター	33
2 上田センター	36
3 松本センター	39
4 諏訪センター	42
5 伊那センター	47

法人運営

「公益財団法人長野県産業振興機構」の発足について

(公財)長野県産業振興機構は、令和4年4月1日に(公財)長野県テクノ財団と(公財)長野県中小企業振興センターが合併し、技術革新による地域産業の高度化と産業創出を促進するとともに県内企業の経営革新及び経営基盤の強化等を支援し県内産業の発展と地域経済の活性化に寄与することを目的として発足しました。

これまで2つの財団が担ってきた事業を継承し、事業の企画・開発段階から販路開拓に至るまで、またそれ以降の再生や事業承継など様々なステージに対し大学、商工団体、金融機関などの産業支援機関等とともに、事業者に寄り添い、積極的に支援してまいります。

I 理事会の開催

開催期日	場所等	議決事項等
令和4年 4月1日	書面表決	理事会 ・ 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の選定について ・ 常勤理事（専務理事、常務理事）の報酬の額の決定について
令和4年 4月27日	書面表決	理事会 ・ 第1回評議員会の開催について ・ 常勤理事（副理事長）の報酬の額の決定について
令和4年 5月31日	長野市	理事会（決算） ・ (公財)長野県テクノ財団の令和3年度事業報告の承認について ・ (公財)長野県テクノ財団の令和3年度収支決算の承認について ・ 第2回評議員会開催について ・ 監事監査規程の改正について【報告事項】 ・ 令和4年度事業計画及び予算について【報告事項】 ・ 令和4年3月以降の職務執行状況について【報告事項】 ・ 第1回理事会及び第2回理事会の結果について【報告事項】
令和4年 6月15日	書面表決	理事会 ・ 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の選定について ・ 常勤理事（常務理事）の報酬の額の決定について ・ 令和4年度事業計画の一部変更について ・ 令和4年度収支補正予算（案）について
令和4年 7月11日	書面表決	理事会 ・ 第3回評議員会の開催について ・ 理事の利益相反取引の承認について
令和4年 9月20日	書面表決	理事会 ・ 令和4年度事業計画の一部変更の承認について ・ 令和4年度収支補正予算の承認について ・ 令和4年度資金調達及び設備投資の見込みの変更承認について

開催期日	場所等	議決事項等
令和4年 11月2日	長野市	理事会（臨時） <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度収支補正予算（案）の承認について ・ 内部統制に関する基本方針（案）の決定について ・ 令和4年度事業の進捗状況について【報告事項】 ・ 業務改善の取組状況について【報告事項】 ・ 職務の執行状況（令和4年6月以降）について【報告事項】 ・ 第4回から第6回までの理事会の結果について【報告事項】
令和4年 12月5日	書面表決	理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回評議員会の開催について ・ 理事の利益相反取引の承認について ・ 令和4年度資金調達及び設備投資の見込みの変更承認について
令和5年 3月15日	長野市	理事会（予算） <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度事業計画（案）の承認について ・ 令和5年度収支予算（案）の承認について ・ 令和5年度資金調達及び設備投資の見込みの承認について ・ 理事の利益相反取引の結果について【報告事項】 ・ 職務の執行状況（令和4年11月以降）について【報告事項】 ・ 第8回理事会の結果について【報告事項】

II 評議員会の開催

開催期日	場所等	議決事項等
令和4年 5月12日	書面表決	評議員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事の選任について
令和4年 6月15日	長野市	定時評議員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ (公財) 長野県テクノ財団の令和3年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について ・ 評議員の選任について ・ 理事及び監事の選任について ・ (公財) 長野県テクノ財団の令和3年度事業報告について【報告事項】 ・ (公財) 長野県中小企業振興センターの令和3年度事業報告及び決算について【報告事項】 ・ 令和4年度事業計画及び予算について【報告事項】 ・ 第1回評議員会の結果について【報告事項】
令和4年 7月20日	書面表決	評議員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 監事の選任について
令和4年 12月16日	書面表決	評議員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員の選任について

Ⅲ 内部統制に関する基本方針に基づく実施状況（令和4年度）について

公平・公正かつ効率的な業務遂行のため、内部統制に関する基本方針を令和4年11月2日に制定し、同方針に基づき次のとおり実施した。

1 コンプライアンス会議設置要綱の制定（令和4年11月25日付け）

(1) 構成員

専務理事（座長）、常務理事、部長以上の職にある者

(2) 協議事項

- ① コンプライアンス上の課題（以下「課題」という。）の把握に関すること。
- ② 課題に対する解決策の検討及び実施に関すること。
- ③ 課題に対する解決策の実施状況の把握、点検及び評価に関すること。
- ④ 理事会への報告事項に関すること。
- ⑤ その他座長が必要と認める事項。

2 コンプライアンス会議の開催状況

(1) 第1回（令和4年11月29日）

- 内部通報窓口（通報用専用メールアドレス）の設置について
- 会計監査人の中間監査実施結果について
- 国委託事業に係るメール誤送信事例に関する情報共有について

(2) 第2回（令和5年1月31日）

- メール送信時における情報（名簿）の漏えいについて
- メール送信時のチェックリストについて

3 内部通報窓口（専用メールアドレス）の設置及び職員への周知（令和4年11月30日付け）

(1) 通報対象

- 法令違反又はそのおそれのある行為
- 定款を含む内部規定違反又はそのおそれのある行為
- ハラスメント等の職場環境を害する行為
- その他の不正行為

(2) 通報先

専務理事及び専務理事が指定する常務理事

(3) 実績

なし

事業内容

【公益目的事業の位置づけ】

各事業の公益目的事業について、各事業項目の最後に下記の略称を付す。

◇相談支援事業＝（相） ◇産学官交流事業＝（交） ◇新産業創出・経営革新支援事業＝（創）

◇共同研究等推進事業＝（共） ◇マーケティング支援事業＝（マ） ◇人材育成事業＝（人）

◇広報等事業＝（広） ◇企業再生・事業承継支援事業＝（承）

第1 企画連携事業

各地域センターに地域連携コーディネーターを配置し、県内各地に存在する産業支援機関との連携強化を図るとともに、ながの産業支援ネットの機能を活かして産業支援機関の職員のスキルアップを図った。

また、機構内の各セクション間の情報共有の強化を図りながらイノベーション創出事業などのセクション横断的に事業を実施するとともに、デジタル広報誌を創刊して企業の取組や支援事例を発信したほか、セミナー等の機会を捉え、支援制度や支援事例を説明することに努め、新機構の利用促進に取り組んだ。

I 支援機関の連携によるイノベーション創出事業

1 コーディネート活動支援事業（共）

実績	コーディネート活動件数 2,391 件
----	---------------------

プロジェクトマネージャー1名を配置し、イノベーションの創出を目指した他分野展開や他業種企業の協業創出等に繋がるモデル事例となりうるプロジェクトの組成に向けて、企業や大学等に対するコーディネート活動を展開したほか、成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）等、国の競争的資金の申請におけるブラッシュアップや事業管理機関として事業の推進を支援した。

2 イノベーション創出プロジェクト推進事業（創）

実績	プロジェクト推進件数 8 件
----	----------------

1で発掘したプロジェクトのうち8件のプロジェクトを認定し、長野県工業技術総合センターと（公財）長野県産業振興機構、（一社）長野県発明協会、ジェトロ長野等と連携し、プロジェクトマネージャーによる総合的な伴走支援を行った。

また、イノベーション創出支援補助金（上限200万円、補助率2分の1以内）により、事業化開発や販路開拓など認定企業の事業ステージに応じた取組を支援した。

	認定企業名（所在地）	プロジェクト名
1	飯田ポリッシング㈱（飯田市）	市田柿ブランド向上プロジェクト

	認定企業名（所在地）	プロジェクト名
2	英幸テクノ(株)（諏訪市）	ナミゲート製品（電波の透過反射制御デバイス）の事業化
3	(株)レヂトン（大町市）	次世代の切断砥石
4	日本装置開発(株)（安曇野市）	自社製品ライン対応高速 X 線 CT スキャナーの営業展開
5	化興(株)（下諏訪町）	電子タグ内蔵 表面処理治具のシステム開発
6	インダストリーネットワーク(株)（岡谷市）	果樹熟度判定ハンドデバイスの開発
7	(株)上野石材商会（上田市）	浅間山溶岩石を使った新たな製品開発
8	ヴェルヌクリスタル(株)（長野市）	無機結晶材料による地下水浄化システムのイノベーション

II 企業の相談に迅速に対応しうる支援体制の構築

1 県内産業支援機関職員の資質向上（相）

実績	スキルアップセミナーの開催 1回
----	------------------

ながの産業支援ネット（66 機関）に所属する産業支援機関、商工団体、金融機関等の企業支援の実務担当者等を対象として、職員の知識・能力の向上を図るため、「DX」をテーマとするスキルアップセミナーを開催した。

セミナー名	開催期日	開催方式	参加者(人)	内 容
「ながの産業支援ネット」スキルアップセミナー	令和 5 年 1 月 11 日	ハイブリッド	152(うちリアル 36)	DX をデザインするための視点と手順&DX を推進するためのポイント

2 センターオブ支援機関運営事業（相）（交）

実績	ながの産業支援ネット連携推進会議開催 1回
----	-----------------------

県内の産業支援機関、商工団体、金融機関等の支援制度やコーディネーター、支援員などの情報を共有するためのデータベースを構築したほか、ながの産業支援ネット連携推進会議を開催し、連携強化を図った。

会議名	開催期日	開催方式	参加者(人)	内 容
令和 4 年度ながの産業支援ネット連携推進会議	令和 4 年 8 月 31 日	ハイブリッド	82 (うちリアル 21)	機構、県、その他支援機関からの支援施策等の情報提供等

3 機構内のコーディネータ力の向上（交）

実績	コーディネーター研修会開催 2 回 NICE Information Channel の開催 14 回
----	--

(1) コーディネーター研修会の開催

NICE 内職員間の連携を促すとともに職員の資質向上を目的に、機構内で豊富な成果事例を持つコーディネーターや人材育成プログラムを受講したコーディネーターを講師として、コーディネーター研修会をオンラインで 2 回開催した。

開催回	開催期日	内 容
1	令和 4 年 6 月 1 日	信州医療機器事業化開発センターにおけるコーディネーター業務の事例紹介
2	令和 4 年 9 月 1 日	JST 目利き人材育成プログラム研修会「バリュープロデュースコース」に関する報告および業務への反映

(2) NICE Information Channel

本部各セクションや地域センターの取組や成果を共有し今後の支援に活かすため、オンラインを活用した職員間の情報発信番組「NIC (NICE Information Channel)」を 6 月からスタートして、概ね月 2 回のペースで 2 月までに 14 回開催した。

(3) コーディネーター Information

各セクションの事業や補助金等の支援制度を職員が把握するとともに県内企業へ紹介するため、「支援制度のご案内」及び「コーディネーター及び推進員紹介」を作成することで、職員間の情報共有の強化を図った。

4 本部間・地域センター間の連携強化（交）

実績	企画連携推進会議の開催 12 回 地域センター連絡会議・地域センター長会議の開催 4 回
----	---

(1) 定期的な連携会議の開催

イノベーション創出プロジェクトや地域センターとの共同企画セミナーなど、これまでに以上に効果の高い事業を効率的に推進するため、企画連携推進会議を月に 1 回、合計 12 回開催し、企画や実施段階における検討・協議を行った。

また、地域センターと本部との連携を密にするため、地域センター連絡会議を 3 回、地域センター長会議を 1 回開催し、円滑な事業の推進を目指した。

(2) 支援企業データベースの構築

支援企業データベースを運用し、各セクション間での重複した対応の防止やこれまでの支援経過を基にした的確な支援の実施を図った。

5 地域ニーズ、産業支援施策ニーズの調査・把握（創）

地域センターの地域連携コーディネーターが中心となって、商工団体や金融機関、市町村

の産業支援部署等を訪問し、支援施策や連携に関するニーズを調査し、機構の施策や事業に反映させるとともに、産業支援機関同士の連携の強化に努めた。

Ⅲ 国際的産学官連携の推進

1 国際ネットワーク構築・交流事業（共）

実績	DTF 国際ワークショップの開催 1 回
----	----------------------

カナダ・アルバータ州政府の在日事務所と今後の連携方策について意見交換を行ったほか、ドイツ・ノルトライン＝ヴェストファーレン州からのニーズに基づき、要望技術を有する県内企業を紹介するなどの対応を随時行った。

また、諏訪圏工業メッセの開催に合わせて諏訪センターと連携して「DTF 国際ワークショップ」を運営し、広く世界動向の把握とネットワークの拡大を図った。

イベント名	開催期日	開催方式	参加者(人)	内 容
DTF 国際ワークショップ 2021	令和 4 年 10 月 12 日	ハイブリッド	54	ドイツ NRW 州が提案するインダストリー4.0 への IT 技術の活用に関する新たなアプローチ他

2 グローバル展開実践カレッジ（人）

実績	グローバル展開実践カレッジの開催 8 回
----	----------------------

海外ビジネスにおけるプレゼンテーションや海外展示商談会を想定した実践的な英語コミュニケーション力を学ぶ講座「グローバル展開実践カレッジ」の初級者向け及び中級者向けを、長野工業高等専門学校と共催で開講した。

開催期日	主な内容	参加人数
令和 4 年 7 月 7 日	<初級者向け>自己紹介&身近な事柄について話す	25
令和 4 年 8 月 4 日	<初級者向け>依頼/お願い&申し出の表現	25
令和 4 年 9 月 1 日	<初級者向け>予約・注文の表現（交渉時にも使える丁寧な言い回し）	18
令和 4 年 10 月 6 日	<初級者向け>問題解決時の英語（建設的なコミュニケーション表現）	17
令和 4 年 11 月 10 日	<中級者向け・長野開催>問い合わせ招待メールの書き方、会議開始の場面に役立つ英語表現	17
令和 4 年 12 月 8 日	<中級者向け・長野開催>運営・司会進行、トラブル時の表現の紹介と練習	22
令和 5 年 1 月 12 日	<中級者向け・上田開催>英語プレゼンテーションのマナーや作成、説明に役立つ表現と練習	15
令和 5 年 2 月 10 日	<中級者向け・上田開催>デモ資料を活用したオンラインミーティングの練習と発表	16

IV 地域社会課題の解決に向けた産業界等の取組促進（人）

実績	NICE ハイテクセミナーの開催 5回
----	---------------------

地域企業のニーズや最新技術、市場動向、社会課題などの情報を提供するために企画・開催する研修会・セミナーなどのイベントについては、地域センターと本部が連携して企画し「NICE ハイテクセミナー」として開催した（企画にあたっては、セミナー等企画運営委員会を開催した（3月末までに11回開催））。

開催回	地域	開催期日	セミナータイトル	連携部署・機関
1	長野	令和4年 6月8日	新たな金属積層造形技術研究会	長野センター 信州医療機器事業化開発センター
2	長野	令和4年 8月19日	地域エネルギー利用技術研究会	NICE 長野コラボネット
3	長野 上田	令和4年 9月29日	知能化運転支援技術の最新動向	長野センター 上田センター
4	松本	令和4年 10月6日	信州大学スマート在宅治療プロジェクトセミナー	松本センター 信州大学学術研究・産学官連携推進機構
5	伊那	令和5年 2月20日	自動車産業動向セミナー	伊那センター グリーンイノベーションセンター

V 企業に役立つ支援PR・広報の強化（広）

実績	支援制度説明会等の開催 3回 広報委員会の設置・開催
----	-------------------------------

令和4年度から機構として新たにスタートしたため、機構の一貫支援体制などの優位性をアピールするとともに、今後の機構の活用を促進するため、支援制度説明会等を開催し、情報発信に力を入れた。

説明会名	開催期日	開催方式	参加者(人)	内 容
補助金等支援制度説明会	令和4年 5月18日	オンライン	54	補助制度、イノベーション創出事業等の説明、支援事例やコーディネーターの紹介
Go-Tech 制度説明会・個別相談会	令和4年 12月7日	ハイブリッド	22（うち個別相談会参加者6）	Go-Tech 制度の紹介及び申請予定企業の個別相談
研究開発等支援制度説明会	令和5年 3月10日	ハイブリッド	24	関東経済産業局や県、JSTなどの次年度事業の紹介

項目	令和4年度実績
新聞等掲載件数（件）	116
講演依頼等対応件数（件）	21
共催・後援等承諾件数（件）	13
デジタル広報誌発行回数（回）	1
機構メールマガジン配信回数（回）	54

第2 新産業創出支援事業

今後成長が期待される産業分野（「健康・医療」、「環境・エネルギー」、「次世代交通」、「IT」など）への県内企業の積極的な参入を促進するため、産業イノベーションにつながりうる「芽」となる研究開発プロジェクトの創出を支援した。また、提案公募制度を活用した産学官研究開発プロジェクトを支援した。

I 次世代産業への支援

1 健康・医療産業分野への支援

実績	製販売企業とのマッチング 51 件 専門家やアドバイザーによる相談件数 6 件 3D デジタル生産技術実装化研究拠点を活用した支援 2 件 事業化戦略策定支援件数 2 件 信州大学医療機器産業人材育成プログラムの受講者数 25 名 技術開発補助金による支援件数 3 件 海外展示会への出展支援 2 社
----	--

(1) 専門コーディネーターによる伴走的支援事業（創）

長野県医療機器産業振興ビジョンに基づき、信州医療機器事業化開発センターに専門コーディネーター1名を配置し、県内企業による医療機器開発の企画から販路拡大まで伴走支援を行った。

ア 3D デジタル生産技術実装化研究拠点を活用した医療機器等開発を創出

長野県工業技術総合センターの3D デジタル生産技術実装化研究拠点を活用した医療機器開発等に取り組む2つの研究会を支援した。

研究開発委託先（研究会名）	開発テーマ名
振動抑制技術研究会	医療機器等用レンズの加工工程における振動抑制技術の開発
金属3D造形医療機器応用研究会	金属3D造形装置による医療用開創器の開発

イ 医療機器メーカーやOEM/ODMメーカー等と県内企業との開発企業グループを形成

(株)日本医工研究所がオンライン上で運営する医工連携プラットフォームにおいて「長野県医工連携ポータルサイト」を開設し、医療現場や医療機器製造販売企業等のニーズと、県内企業の技術シーズとのマッチング商談会を実施した。

【長野県医工連携ポータルサイト】

県内企業 33 社 (R4 年度に 12 社増加) 及び信州大学の出展を支援し、製販企業とのマッチングを 51 件支援した。

【現役医師によるオンラインセミナー】

開催期日	参加者 (人)	内 容
令和 4 年 8 月 22 日	99	消化器外科手術の最先端と医療現場のニーズ
令和 5 年 1 月 12 日	96	最新の眼科手術とアンメットメディカルデバイスニーズ

ウ 医療機器等の開発に向けた資金獲得等を支援

機構で実施する医療機器開発等支援事業補助金や長野市ものづくり研究開発事業補助金など 7 件の申請書のブラッシュアップなどの競争的資金の獲得を支援するとともに、採択後に事業を円滑に推進するためにフォローアップを行った。

また、支援成果の発信として、北アルプス広域消防本部の救急救命士の現場ニーズを県内企業に繋げて開発した「真空成型形式副木」について、県庁で記者会見を実施した。

(2) アドバイザーによる相談支援事業 (創)

薬機法や保険収載適用に係る相談窓口を信州医療機器事業化開発センター信州大学オフィスに設置し、3 件の相談に対応した。また、機構本部では、医療機器等の市場探索や開発、マーケティング等の専門知識を持った 7 名のアドバイザーを登録して相談支援の体制を整備し、3 件の相談に対応した。

(3) プロデュースによる事業化促進事業 (創)

開発する医療機器等における事業化の成功モデルを創出するため、事業化セミナー及び環境分析ワーキングショップの開催と県内企業 2 社の事業化戦略の策定の支援を行った。

事業名	開催期日	開催方式	参加者 (人)	内 容
医療機器開発案件事業セミナー	令和 4 年 10 月 17 日	オンライン	21	事業の概要、医療機器産業におけるビジネスモデル
環境分析ワーキングショップ	令和 4 年 11 月 8 日	テクノプラザおかや	13	現状分析と新事業を考えるための手法についてのケーススタディ

【事業化戦略策定の支援企業】

上田日本無線株式会社 (上田市)、株式会社オサチ (岡谷市)

(4) 医療機器開発等補助事業 (共)

医療機器等の試作開発及び販路開拓の取組 3 件について補助金を交付し、医療機器等の製品化・事業化を支援した。(補助率 1/2 以内、上限額 1,000 万円/件)

補助対象者（所在地）	開発テーマ
(株)サンメディカル技術研究所（諏訪市）	世界最小の補助人工心臓（VAD）の開発
(株)徳武製作所（坂城町）	薬剤投与装置の開発
ファミリー・サービス・エイコー(株)（長野市）	医療用水の紫外線照射装置の開発

(5) 医療機器開発人材育成プログラム運営事業（人）

医療機器研究開発人材育成プログラムの運営を信州大学へ委託し、県内企業の人材育成を支援した。令和4年度の県内企業の受講者数は25名。

(6) 海外医療機器メーカーへの技術PR事業（共）（マ）

医療機器等の国際展示会 Arab Health2023（ドバイ）に長野県ブースを出展し、県内企業2社の販路開拓支援を行った。

展示会名	会期	会場	支援企業
Arab Health2023	令和5年1月30日 ～令和5年2月2日	Dubai World Trade Center	シナノケンシ(株)（上田市） (株)ナイツ坂城事業所（坂城町）

2 航空宇宙産業分野への支援

実績	提案公募事業の獲得支援 1件 人材育成補助金による支援 3件 技術開発補助金による支援件数 5件 講習会等の開催回数5回
----	---

(1) 航空機産業支援機能強化事業

長野県航空機産業振興ビジョンに基づき、エス・バード内（飯田市）と機構本部に航空宇宙産業分野専任コーディネーターを各1名、航空機産業支援アドバイザー1名を配置し、NAGANO 航空宇宙産業クラスターネットの共同事務局として航空機産業の参入を支援した。

支援施策	支援内容	支援者数等
成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）	事業計画等の申請書類作成や共同研究先や支援機関等との調整等の支援を実施	1社
中部経済産業局「航空機関連海外バイヤーミートアップ」	機構が推薦した県内企業が航空機関連の海外バイヤーと面談機会を創出	1社
中部大学とのニーズ・シーズマッチング開催	中部大学教授3名の研究シーズの県内企業向けの発表会を開催	参加者 38名
航空機電動化・次世代エアモビリティセミナーの開催及びテーマ別勉強会	（公財）南信州・飯田産業センターと共催により、空飛ぶクルマ等の最新動向紹介、センサ・モーターなどのテーマ別勉強会	セミナー2回 勉強会6回
NAGANO 航空宇宙産業クラスターネット活動状況報告会	長野県と共催により、活動状況報告と民間航空機産業の今後展望を紹介	参加者 76名

支援施策	支援内容	支援者数等
NAGANO 航空宇宙産業クラスターネットセミナー	NPO 法人諏訪圏ものづくり推進機構と共催により、電動航空機開発の最新動向紹介	参加者 42名
NAGANO 航空宇宙産業クラスターネットのメルマガ運営	NAGANO 航空宇宙産業クラスターネットの共同事務局として情報提供等の支援実施	会員数 94 社 (R4：4 社増)

(2) 航空機部品品質保証力等強化事業（人）

県内中小企業が実施する航空機産業人材の育成に資する講習会開催やコンサルタント招へいによる社内体制の整備の取組 3 件に補助金を交付し支援した。

また、専門の講師を招へいして県内において講習会を開催した。

補助事業名	補助対象者（所在地）
航空機産業人材育成補助金	多摩川パーツマニュファクチャリング(株)（飯田市）
航空機産業企業内体制整備補助金	多摩川パーツマニュファクチャリング(株)（飯田市） (株)NEXAS（飯田市）

講習等の名称	開催場所	開催期日	参加者
JISQ9100 内部監査員養成研修	エス・バード	令和 4 年 7 月 25 日 ～令和 4 年 7 月 26 日	5 社 9 名
特殊工程技術研修（表面処理）	多摩川パーツマニュファクチャリング(株)	令和 4 年 8 月 10 日	2 社 4 名
品質保証まるわかりセミナー	エス・バード	令和 4 年 11 月 17 日 ～令和 4 年 11 月 18 日	6 社 19 名
JISQ9100 内部監査員養成研修	エス・バード	令和 4 年 12 月 14 日 ～令和 4 年 12 月 15 日	8 社 14 名
生産技術研修・機械加工基礎セミナー	エス・バード	令和 5 年 1 月 16 日	10 社 23 名

(3) 航空機システム等研究開発支援事業（共）

県内中小企業企業や県内大学等が行う航空機システム等の研究開発の取組 5 件に補助金を交付し、航空機等の分野における製品化・事業化を支援した。（補助率 1/2 以内、上限額 200 万円/件）

補助対象者（所在地）	開発テーマ
アシストプラン(株) （長野市）	多機能／多用途型水・空ドローンの自律航行における動作・安全性の制御精度と信頼性向上のためのシステム開発
(株)羽生田鉄工所（長野市）	無人山岳物資輸送ヘリコプタ用高強度・高剛性メインローターブレードの機械的強度試験手法及び強度試験手法及び強度規格の確立
信州大学（松本市）	環境に優しい社会に貢献する航空機ブレーキシステム研究開発
信州大学（松本市）	長野県航空機電動化プロジェクトに貢献する航空機システム研究開発
信州大学（松本市）	磁性コンポジット材を利用した航空機電力変換装置用冷却ブローの低損失化

3 環境・エネルギー産業分野への支援

実績	ゼロカーボン関連技術に関する研究会の設置・運営件数 4件 山梨大学水素・燃料電池ナノ材料研究センターと連携協定を締結 技術開発補助金による支援件数 8件 カーボン排出量の削減計画策定支援件数 16件 提案公募型研究開発プロジェクト運営件数 5件
----	--

(1) ゼロカーボン技術事業化促進事業（創）

グリーンイノベーション推進部（グリーンイノベーションセンター）に専任のコーディネーターを1名配置し、県内企業のゼロカーボン関連技術による研究開発への取組を推進した。

ア ゼロカーボン関連技術に係る研究会の運営

研究会名	内 容	開催状況	参加者数等
信州酸化ガリウムデバイス化研究会	信州大学で開発された、垂直ブリッジマン法（VB法）による単斜晶構造（β型）酸化ガリウム結晶を用いたパワーデバイス開発に向けたウエハ製造に係る研究会	連絡会議を1回開催	会員企業数 6社
地域資源循環型複合材料研究会	県産木質材料や農産物・食品残渣等を利活用し、バイオ系樹脂等との複合化による低環境負荷材料の開発、早期社会実装に向けたプロジェクトの創出を目指す研究会	開催3回	参加者数 延べ77名
工業用燃料電池システム研究会	工場の生産ラインに導入可能な工業用燃料電池の普及を目指し、システム導入の可能性や新たな開発プロジェクトテーマを見出すための研究会	開催2回	参加者数 延べ78名
環境品質モビリティ研究会	環境課題に対応したEVやFCVへの部品転換や製造時におけるカーボン排出量の削減など環境品質に係る共通課題の調査・研究、情報交換や新たな開発プロジェクトテーマを見出すための研究会	開催4回	参加者数 延べ189名

イ ゼロカーボン技術事業化支援補助金

新たなゼロカーボン関連技術開発に取り組む場合に製品化までのプロセスを加速化する取組8件に補助金を交付して支援した。

（補助率1/2以内、上限額1,000万円/件（特にCO2排出量の削減が認められる場合補助率2/3以内、上限額2,000万円））

補助対象者（所在地）	開発内容及び目指すゼロカーボン社会
(株)新井製作所（須坂市）	用水路発電に適した高効率・高性能クロスフロー水車の開発により、再エネ（小水力発電）普及を拡大
オリオン機械(株)（須坂市）	燃料電池トラック水素充填用プレクール熱交換器の開発により、FCトラック等を普及拡大

補助対象者（所在地）	開発内容及び目指すゼロカーボン社会
(株)小松精機工作所（諏訪市）	高効率アモルファスモータコアの開発により電動化社会の実現
シナノケンシ(株)（上田市）	高圧力高効率省エネブローアを開発し、燃料電池用途に展開することによりEVなどを普及拡大
(株)SORENA（長野市）	りんご残渣高配合のりんごレザーの開発により、廃棄資源の有効活用及び石油由来材料の削減
(株)hide kasuga 1896（長野市）	間伐材木粉とバイオマス樹脂による新複合素材の開発と資源循環型経済の実現
マイクロコントロールシステムズ(株)（佐久市）	工業用燃料電池システムの開発により、電力、熱、窒素ガスの活用によるエネルギーの有効活用
(株)ミライ化成（千曲市）	リサイクル炭素繊維の開発及び用途開発により、廃棄資源の有効利用及びエネルギー消費量を削減

ウ その他

取 組	内 容
山梨大学水素・燃料電池ナノ材料研究センターと連携協定	電池関連分野等に係る技術力向上及び地域社会発展に係る取組に関して、山梨大学 水素・燃料電池ナノ材料研究センターと連携協定を締結
展示会へ出展	「諏訪圏工業メッセ2022」と「Matching HUB Hokuriku2022」に出展しグリーンイノベーション推進部の取組を紹介し、ゼロカーボンに向けた連携や県内企業の取組を推進

(2) カーボン排出量可視化・削減支援事業（創）

グリーンイノベーション推進部（グリーンイノベーションセンター）に、専任のコーディネーター1名を配置し、長野県工業技術総合センター環境・情報技術部門と連携して県内企業のカーボン排出量の可視化及び削減の取組を支援した。

セミナー等	支援内容	支援件数等
カーボン排出量可視化・削減支援	長野県工業技術総合センターと共催により、LCA手法に関するセミナーの開催、県内企業の成果発表会を開催	セミナー2回 成果発表会1回
カーボン排出量削減に係る伴走支援	長野県工業技術総合センターと連携し、専門家チームに参加し、県内企業のカーボン排出量の削減に係る助言等	支援件数3件
商品のカーボン排出量の算出と表示勉強会の開催	長野県工業技術総合センターと共催により、製品に付ける環境ラベルのメリット等に係る勉強会を実施し、県内企業の取組を促進	支援件数13件

(3) 磁気エレクトロニクス（広範）研究会（創）

省エネ、省電力等の環境負荷低減に貢献し、新たな技術改革が必要とされる磁性材料技術の開発を促進するため、磁気エレクトロニクス研究会を2回開催した。

開催期日	開催方式	参加者(人)	内 容
令和4年8月1日	オンライン	45	磁性材料技術の開発動向について諏訪東京理科大学と長野高専から講演
令和5年1月25日	オンライン	39	磁性材料とセンサをテーマとして豊田工業大学、シチズンファインデバイスから講演

(4) 半導体技術の高度化（新）

次世代パワーエレクトロニクス研究会や半導体実装フォーラムを開催し次世代半導体製造技術・実装技術の開発を促進した。

研究会名	開催期日	開催方式	参加者(人)	内 容
次世代パワーエレクトロニクス研究会	令和4年8月26日	ハイブリッド	81	パワー半導体の動向、産総研の超小型半導体生産システムについての講演
半導体実装技術フォーラム	令和4年12月5日	ハイブリッド	41	半導体実装の現状や課題、パッケージ評価等についての講演

(5) 提案公募型研究開発プロジェクト運営事業

経済産業省の成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）等の競争的資金を獲得し、採択された研究開発プロジェクト（新規3件、継続2件）に対し、事業管理機関として、研究開発の推進を支援した。

	研究開発計画名	主たる中小企業	連携している大学・公設試等	計画期間(年度)
1	超精密膜厚制御による放射光施設用フリーフォーム型X線ミラーの開発	夏目光学(株) (飯田市)	東京大学	令和2～ 令和4
2	水素社会に向けた高リサイクル・高強度・耐水素脆性結晶微細化ステンレス棒材の小規模効率生産技術の開発	(株)小松精機工作所 (諏訪市)	兵庫県立大学	令和3～ 令和5
3	大口径（300mm）ウェハに対応した高耐熱性めっき技術の開発	大和電機工業(株) (諏訪市)	信州大学	令和4～ 令和6
4	ミリ波レーダとGPS/INS技術により実現する山岳物資輸送用無人ヘリの開発	(株)クエストコーポレーション (小布施町)	信州大学 長野県工業技術総合センター	令和4～ 令和6
5	農業土壌の即時分析評価技術の研究開発	(株)Henry Monitor (諏訪市)	信州大学	令和4～ 令和6

4 食品産業分野への支援

実績	醸造蔵から採取した微生物の菌叢情報の科学的解明 新規研究会の設置・運営支援 1 件
----	--

(1) 新たな食品創出支援事業（共）

長野・北信地域振興局が実施している地域遺伝資源活用新商品開発コンソーシアムに参画し、信州大学と連携して醸造蔵から採取した微生物の菌叢情報の科学的解明を図り、商品化に向けた検証等を行った。また、コンソーシアム活動の成果の発信として県内企業が出展した健康博覧会において伴走支援を行った。

(2) 機能性表示食品開発推進事業（創）

長野県 JA 産えのきたけに含まれる機能性成分を活用した食肉代替食材や菓子類などを製造する加工技術を開発するため、食品製造業者、大学、支援機関等から成る「きのこ機能性加工食品研究会」を開催した。

開催期日	場 所	参加者（人）	内 容
令和 4 年 9 月 7 日	中野地域職業訓練センター	15	発酵食品の製造等を東京農業大学から講演
令和 5 年 3 月 17 日	長野県工業技術総合センター食品技術部門	15	成果報告、試作商品の紹介・試食

II I T 産業への支援

1 信州 I T バレー構想の推進

実績	信州 I T バレー推進協議会構成員 55 機関（2 機関増） コンソーシアム活用型 I T ビジネス創出支援 12 件 産業フェア in 信州 2022 企画イベントの開催 信州 P-Tech の連携協定の締結
----	---

(1) 推進協議会運営事業（産）

I T バレー推進部にテクノコーディネーター 1 名、産業 DX コーディネーター 2 名を配置し、信州 I T バレー構想の具現化を推進する信州 I T バレー推進協議会の事務局として、産学官による新たな I T システムの開発や I T 人材の育成を支援した。

ア 情報発信

信州 I T バレー構想の取組内容の PR 等を行うため、web サイトへの情報掲載を行うとともに、facebook アカウントにより、イベント等の P R や、県内外の I T 人材ネットワーク形成や情報共有に資する情報を発信した。

イ ITベンダー等が集う場の形成を支援し、新たなITシステム開発を促進

事業	内容
NITプランシェアカフェの開催	構成員相互のより一層の情報発信や交流を図る場として位置づけ、隔月に開催した。
NIT事務局会議の開催	協議会の施策を検討するため、隔月に開催した。

ウ AI・IoT、RPA等の導入支援

AI・IoT等先端技術利活用支援拠点として、県内企業によるAI・IoT、RPA等の導入にあたり相談対応やマッチングを支援した。

事業	内容
「長野県IoT推進ラボ」の運営	デジタル技術導入に関する相談対応、自治体、支援機関等へ産業界DXコーディネーターの講師派遣、「CEATEC2022」へ出展

エ IoT等デジタル人材育成支援

事業	開催期日	場所	出席者(人)	内容
IoT導入研修	令和4年 9月1日～ 11月22日 (全9回)	テクノプラザおかや、 (株)牛越製作所(岡谷市)	16	県内中小企業等へのDXに対する知識の普及等を目的として、現場とIoTの両方に精通し、課題解決力のある人材を創出するための研修を開催

事業	連携協定	内容
信州P-Tech事業	信州ITバレー推進協議会、長野県、長野県教育委員会において、と連携協定を締結(R4.9.7)	産業界が必要とするDX人材を育成するため、地元企業の支援のもと、高騰学校、工科短大で学ぶ5年間の教育モデル「信州P-Tech」の取組を支援

事業	内容	協働する企業
地域デジタル人材育成・確保推進事業(国委託)	国のデジタル人材育成プラットフォームにおけるデジタル人材と協働する中小企業を発掘し、現場研修プログラムの創成を支援	5社

(2) コンソーシアム活用型ITビジネス創出支援事業(共)

ア 産学官連携プロジェクト生成等支援

イベント名	開催期日	場所	内容
「産業フェア in 信州 2022」への参画	令和4年 10月21日 ～10月22日	ビッグハット	パネルディスカッションの開催とブース出展を行い、信州ITバレー構想における取り組みを紹介
「プロジェクト共創ネットワーク」への支援	令和5年 3月1日 3月16日	JA長野県ビル	「プロジェクト共創ネットワーク」地域DX推進部会が主催した「長野DX浸透モデル検討ワークショップ」の開催を支援

イ IT企業へのシステム開発支援

県内IT中小企業が産学官連携コンソーシアムを構成し、教育や環境、防災などの地域課題の解決やVR、ブロックチェーンなど地域に新たな価値を創出するITシステム開発12件について補助金により支援し、成果報告会開催した。(補助率1/2以内、上限額500万円)

補助対象者(所在地)	開発テーマ
(株)アドヴァンスト・インフォメーション・デザイン(松本市)	AIを活用した路線バスの作業最適化編成システム構築
アルティメイトプロジェクト(株)(諏訪市)	エッジAI画像認識技術活用による検品業務システムの開発
(株)AB.do(長野市)	空間補正技術による地域課題解決ITシステムの開発
(有)ケー・アンド・エフコンピュータサービス(長野市)	地域との共創によるスポーツビジネスDXとIT産業振興へのチャレンジ
(株)SKIDAY(白馬村)	スキー場の最新コンディション情報を配信するためのウェブサイト、およびモバイルアプリケーションの開発
炭平コンピューターシステム(株)(長野市)	長野県農産地でのブロックチェーン技術を使った、革新的な物流システムによる運送業のSDGs対応
(株)ソルティスター(塩尻市)	水洗浄槽のクラウド遠隔制御システム開発～SDGsに向けて～
(株)nabe(松本市)	高齢者のQOL(Quality of Life)向上を目指すオンライン会話サービス nabetomo
(有)ハイツシステム(上田市)	メカシミュレータの開発
(株)フィールドデザイン(長野市)	地域観光収益力増強に向けたプラットフォーム構築事業
マリモ電子工業(株)(上田市)	最先端ソフトウェア無線デバイスに実装する「WiFiモニタリング・アナライザ端末」の開発
(株)ラポーザ(長野市)	走行ロボットにおける自動・自律制御ユニットシステムの開発

事業	開催日	開催	参加者(人)	内容
コンソーシアム活用型ITビジネス創出支援事業 事業報告会	令和5年3月22日	オンライン	33	支援した12件のITシステム開発プロジェクトの成果発表

第3 経営支援事業

県内中小企業等が、経営環境の急激な変化等に柔軟に対応して継続的な経営ができるよう、経営上の様々な課題への相談対応、受発注取引、販路開拓等の支援を行うとともに、企業再生支援、事業承継、事業引継ぎの支援を行った。

I 相談支援

1 よろず支援拠点事業（相）

実績	一般相談件数 9,589 件 新型コロナウイルス関係相談件数 343 件 課題解決件数 871 件 セミナー・相談会開催件数 106 回 Facebook ページフォロワー数 1,230 人
----	---

新型コロナウイルスの影響の長期化を受けて、中小企業からの経営上の様々な課題等に関する相談に対し、長野県よろず支援拠点のコーディネーター37名が、迅速かつ丁寧にワンストップで対応した。

特に、新型コロナウイルス感染症の影響により人流の制限などで大きな打撃を受けた、ホテル旅館業、飲食業、小売業などに精通したコーディネーターを増員し、売り上げ拡大、資金繰り、事業再構築に向けた多数の相談に対応するとともに、当機構の5ヶ所の地域センターを含む県内18ヶ所にサテライトを設置し相談機能の拡充を図った。

コーディネーターが講師となって開催するセミナー・相談会は、コロナ禍による売り上げ拡大やネット販売など、事業者の身近な課題をテーマとして106回開催した。

また、「成長を志向する企業への支援事業」については、成長を志向し中小企業の枠から拡大したい事業者へ伴走型支援を実施し、今年度は13社の支援を行った。引き続き、小規模事業者への支援は維持・強化をしつつ、成長志向の中小企業支援にも注力すべく、ニーズの発掘等を積極的に行った。

II 新事業創出・経営革新等支援

1 創業支援

実績	専門家派遣件数（創業者） 137 回 地域課題解決型創業支援事業支援対象者 20 名
----	---

(1) 専門家派遣事業（創業者向け）（創）

創業を予定している者や創業間もない事業者の経営課題を解決するため、当機構に登録している専門家を派遣し、無料で診断・助言を行った。

- ・ 専門家派遣企業数（創業者） 15 企業
- ・ 専門家登録者数 176 名

(2) 地域課題解決型創業等支援事業（創）

県内経済を担う次世代産業を創出するため、地域の課題をビジネスの手法で解決するソーシャル・イノベーションによる創業を目指す者に対して、創業経費を補助（上限 200 万円、補助率 1/2 以内）するとともに、伴走支援員 2 名による創業者の掘り起こしやフォローアップ体制の強化を図った。

84 件の応募があり、「社会性」「事業性」「必要性」の観点から審査した結果、21 件を採択し、事業廃止 1 件を除く 20 件が年度内に創業した。

【主な事業例】

事業者名（創業者）	実施地域	事業内容
(株)le cocon（竹内奈津紀）	長野市	居宅訪問による育児・家事支援事業及び子育て支援・託児施設運営事業
アソビノ（沓掛瑞穂）	上田市	子どもの生きる力（非認知能力）の体験を通して育てる事業
カラダのメンテ（山本葵）	松本市	成長期アスリートのスポーツ障がい予防・再発予防事業

2 経営革新等支援

実績	専門家派遣件数（一般向け） 291 回 中小企業等外国出願支援事業補助金支援件数 14 件
----	--

(1) 専門家派遣事業（一般向け）（創）

中小企業が抱える経営、技術、人材育成、情報化、海外展開及びマーケティング等の様々な課題を解決するため、当機構に登録している専門家を派遣し、診断・助言を行った。

- ・ 専門家派遣企業数（一般向け） 31 企業
- ・ 専門家登録者数 176 名

(2) 中小企業等外国出願支援事業（創）

優れた技術等を有する県内中小企業者等の経営基盤の強化、国際競争力の向上、海外市場への新たな参入及び事業展開を促進するため、中小企業の外国への特許、実用新案、意匠及び商標登録出願等に要する費用の一部を補助した。

内訳	件数（件）
特許	13
商標登録	1

(3) 地域産業活性化基金助成金フォローアップ事業（創）

平成 19 年度から平成 29 年度までの助成金活用事業（258 件）のうち平成 28 年度から平成 29 年度の（41 件）に対して事業の進捗管理を行った。

(4) 農商工連携支援基金助成金フォローアップ事業（創）

平成 21 年度から令和元年度までの助成金活用事業（62 件）のうち平成 28 年度から令和元年度の（21 件）に対して事業の進捗管理を行った。

Ⅲ マーケティング支援

1 総合支援

実績	セミナー開催 1回
	商談件数 1,030件
	移動相談会開催 2回

(1) マーケティングコーディネート事業 (マ) (人)

マーケティング支援部事業について、消費財分野の総括的な指導・提言を行う特別顧問を配置し、マーケティングの重要性の浸透を図るための特別顧問のコーディネートによるマーケティングセミナーをオンラインで開催した。

【消費財マーケティングセミナー (中村胤夫特別顧問)】

開催期日	会場	内容	参加者数
令和 5年 1月 17日	オンライン配信拠点: (一社) 全国スーパーマーケット協会(東京都)	プログラム 1 おいしい信州ふード発掘商談会 in 東京 実施状況報告会 ～アンケート結果から読み取る商談会の実施状況～ 解説 長野県営業局販売流通促進担当 主任 手塚裕介 氏 プログラム 2 出展 5社による事例発表 ① (有)本郷鶏肉販売グループ 竹内房子 氏 ② (株)ベジパング代表取締役 折井祐介 氏 ③ 千曲錦酒造(株)営業部課長代理 増田智則 氏 ④ (株)ビオカ営業統括部長 田中由美 氏 ⑤ 信州ハム(株)営業推進部企画販促課課長 小林稔 氏	57

(2) 中小企業販路開拓助成事業 (マ)

県内ものづくり企業の技術や製品をPRするため、海外又は県外で開催される製造業関連の展示会(オンライン展示会を含む。)に共同出展する団体又は単独で出展する中小企業に対し、出展等に要する費用の一部を助成した。

・対象経費・助成率

国内展示会 小間料の 1/3 以内 (小規模事業者向け助成金は 2/3 以内)

海外展示会 小間料及び小間料以外の経費 (通訳代及び輸送費等) 総額の 1/2 以内
(小規模事業者向け助成金は 2/3 以内)

オンライン展示会 出展料の 1/3 以内 (小規模事業者向け助成金は 2/3 以内)

- ・助成限度額
- ・国内展示会 20万円
- ・海外展示会 75万円
- ・オンライン展示会 20万円

【一般向け助成金】

交付企業	38 企業
交付実績額	5,118 千円

【小規模事業者向け助成金】

交付企業	11 企業
交付実績額	1,571 千円

(3) 取引適正化相談事業（マ）

中小企業の経営活動で生じる取引上のトラブル等の相談窓口「下請かけこみ寺」において、新たに専門相談員2名を配置し相談対応を行うとともに、新型コロナウイルス感染症のサプライチェーン対策として、コロナウイルスに関連する窓口相談にも対応した。また、下請取引の適正化のための移動相談会を2回開催した。

さらに、原材料価格やエネルギーコストが上昇している中、適切な価格転嫁が必要であるため、価格交渉の基本から実践までの交渉ノウハウや実践事例等を学ぶ価格交渉サポートセミナーを2回開催した。

下請かけこみ寺相談企業数 (うち新型コロナウイルス関連)	172 件 (0 件)
---------------------------------	----------------

【価格交渉サポートセミナー】

開催日	会場	テーマ（内容）	講師	参加人数
令和4年 7月15日	テクノプラザお かや（岡谷市） 及びオンライン	「明日から活用できる 価格交渉の基本&実践 を学べる90分」	弥富 尚志 (いやどみ なおし) 氏 (一社) 東京都中小企業診断 士協会 中小企業診断士	268
令和4年 12月9日	オンライン	「価値組企業の価格交 渉 =もっといい製品/ サービスのために=」	荒谷 司聖 (あらたに もりまさ) 氏 (株)プラスタスパートナーズ 代表取締役	151

(4) 海外展開現地支援事業（マ）

上海市の「上海事務所」に駐在員1名を配置して、中国市場の情報収集・提供等を行い、県内企業の海外展開を支援した。

主な業務内容	件数等	
情報収集・提供（一般経済情報・市場情報等）	890 件	
現地見本市等への出展支援等	19 件	
販路開拓支援（商談会等）	商談会等回数	3 回
	参加企業数	5 社
	商談件数	9 件
	成約金額	361 千円

2 生産財販路開拓支援

実績	受発注取引あっ旋紹介件数 1,310 件（新規取引成立 24 件）
	発注開拓企業訪問 495 社（発注案件 365 件）
	提案営業向上セミナー開催 1 回、経営戦略セミナー開催 1 回
	商談会開催 13 回（商談件数 969 件）
	国内展示会における商談件数 807 件 海外展示会における相談件数 565 件（商談件数 623 件）

(1) 受発注取引支援事業

ア 受発注取引のあっ旋（マ）

県内で生産財（工業製品）を加工・製造している企業の受発注取引や販路開拓に関する相談に対応するため、県内4か所（上田、諏訪、伊那、松本）に「受発注取引推進員」4名を配置し、企業訪問等による取引相談及びあっ旋を行うとともに、職員の企業訪問による受発注取引のあっ旋を行った。

イ 発注の開拓（マ）

三大都市圏の発注企業と県内の生産財に係る受注企業との取引を推進するため、県外3か所（東京、名古屋、大阪）に「発注開拓推進員」3名を配置し、企業訪問等による発注開拓を行い、受発注取引推進員や職員と連携して取引あっ旋紹介を行った。

【受発注取引あっ旋・紹介（県内・県外分合計）】

項 目		実 績
発注申出件数		365
受注申出件数		501
あっ旋紹介結果	成立件数	24
	不成立件数	1,256
	折衝中の件数	541
契約成立当初受注金額（千円）		51,510

ウ 調査・情報提供（マ）

県内受注企業の経営動向を把握するための調査や「特色加工技術保有企業情報」や「受発注ニュース」の発行等を行った。

【調査・情報提供】

項 目	実 績	摘 要
登録受注企業経営動向調査	4 回	調査対象 200 社
受発注ニュースの発行	12 回	インターネットによる発信等
メールマガジンの発行	53 回	展示会、セミナー等

(2) ものづくり国内販路開拓支援事業

ア セミナーの開催（マ）（人）

多様化する顧客（取引先）のニーズに対し、市場の変化や顧客の購買活動に対応した

営業力を身につけるための提案営業・交渉力・プレゼン能力向上セミナーを開催し、実際に営業活動を行う新規開拓実践研修を実施した。

また、企業経営者向けに、激変する外部環境に対し、地域の強みを活かした産業の創出を図るための経営戦略セミナーを開催した。

【ものづくりマーケティングスキル向上セミナー】

内 容		開 催 日	会 場	受講者数
提案 営業 向上 セミ ナー	提案営業・交渉力・プレゼン 能力向上セミナー（5回）	令和4年9月8日 9月15日 10月6日 10月28日 11月17日	テクノプラザ おかや（岡谷市）	43
	新規開拓実践研修（1回）	令和5年9月29日	テクノプラザ おかや（岡谷市）	32
	テレアポ実践研修（面談機 会の創出・商談力の強化）	研修期間中 商談件数 63件 成立件数 5件、成立金額 17,610千円		
経営 戦略 セミ ナー	経営戦略セミナー（1回）	令和5年1月27日	ホテルメトロポ リタン長野 （長野市）	36

イ 商談会の開催（マ）

国内における新規受注の確保や取引先の開拓を支援するため、県内中小企業を募って県外のメーカー等を訪問し、設計・開発・購買担当者に直接自社の新技術や新工法を提案する技術提案型商談会をオンライン方式も取り入れ開催した。

また、富山県と連携して首都圏の発注企業を開拓し、県内受注企業とのマッチングを行い、東京で「ものづくり商談会」を開催した。

【技術提案型商談会】

訪問先企業	開催方式	参加企業 数（社）	商談件数 （件）	成立件数 （件）	成立金額 （千円）
SMC（株）、（株）アネスト 岩田、イビデン（株）他2社	オンライン	延べ 80	681 （会期後～ 3ヶ月）	14 （会期後～ 3ヶ月）	4,700 （会期後～ 3ヶ月）
ニプロ（株）、（株）リガク、 （株）デンソーテン他4社	対 面 （ハイブリッ ド1社を含む）				

【医療機器メーカーによる事前説明会及び医療機器ビジネス参入フォーラム】

開催日	会場	内容	参加者数 （人）
令和4年9月1日	テクノプラザおかや （岡谷市）	技術提案商談会を開催する 医療機器メーカーの会社概 要、商品化に向けた取組と長 野県企業に期待すること等	65

【富山県・長野県ものづくり連携商談会】

開催日	会場	参加企業数 (社)	商談件数 (件)	成立件数 (件)	成立金額 (千円)
令和4年11月22日	東京都立産業貿易センター浜松町館	長野県 30 富山県 36 発注側 44	288 (会期後 3か月)	8 (会期後 3か月)	2,230 (会期後 3か月)

ウ 展示会の開催及び出展支援 (マ)

県内製造業の特長である精密加工技術をPRし、新たな市場への販路開拓拡大を図るため、関東圏の集客力の高い展示会において「長野ものづくり技術展」を開催した。

また、成長が見込まれる次世代交通分野への参入を促進するため、当該分野に関する素材・部品・製品や製造技術をPRできる展示会への出展を支援した。

【長野ものづくり技術展】

展示会名	開催日	会場	出展者数(社・団体)	来場者数(人)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
高精度・難加工技術展 2022/表面改質展 2022	令和4年10月19日～21日	東京ビッグサイト	28	36,852	410 (会期後3ヶ月)	14 (会期後3ヶ月)	4,250 (会期後3ヶ月)
テクニカルショウヨコハマ 2023	令和5年2月1日～3日	パシフィコ横浜	61	15,827	249 (会期中)	0 (会期中)	0 (会期中)
	令和5年1月10日～2月28日	オンライン	61	8,758			

【成長市場分野展示会】

展示会名	開催日	会場	出展者数(社・団体)	来場者数(人)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
第1回オートモーティブワールド「秋」	令和4年8月31日～9月2日	幕張メッセ(千葉県)	9	16,247	148 (会期後3ヶ月)	0 (会期後3ヶ月)	0 (会期後3ヶ月)

(3) 生産財海外販路開拓支援事業 (マ)

ア 県内企業の海外への販路開拓や海外企業との技術連携等を促進するため、グローバル展開推進員3名を本部に配置し、ASEAN諸国等で開催される展示会(リモート出展方式含む)への出展支援やオンライン商談会への参加支援を実施した。

また、中国、ASEAN諸国等の現地日系企業等への技術提案商談会を実施した。

【海外展示会】

展示会名	分野	開催日	開催地 開催方式	出展 者数 (社)	商談 件数 (件)	成立 件数 (件)	成立 金額 (千円)
METALEX Vietnam2022	工作機械	令和4年 10月6日 ～9日	ベトナム (ホーチン)	6	204 (会期後 6ヶ月)	19 (会期後 6ヶ月)	3,467 (会期後 6ヶ月)
TAITRONICS 2022	エレクトロ ニクス	令和4年 10月26日 ～28日	台湾 (台北・リモ ート出展)	2	21 (会期後 6ヶ月)	0 (会期後 6ヶ月)	0 (会期後 6ヶ月)
METALEX2022	工作機械 工具等	令和4年 11月16日 ～19日	タイ (バンコク)	3	124 (会期後 6ヶ月)	0 (会期後 6ヶ月)	0 (会期後 6ヶ月)
FBC アセアン ものづくり 商談会	自動車・電 機・電子等	令和4年 9月7日 ～9日	オン ライン	8	222 (会期後 3ヶ月)	9 (会期後 3ヶ月)	2,400 (会期後 3ヶ月)

【国際版技術提案型商談会】

開催日	開催 方式	来場者数	参加 企業数 (社)	商談件数 (件)	成立件数 (件)	成立金額 (千円)
令和5年 2月14、15、 16、21、22、 24日	オンライン	8	14	52 (会期中)	0 (会期中)	0 (会期中)

イ 海外展開の促進と商談会での提案力向上を支援するためのセミナーを対面及びオンラインにて開催するとともに商談会後のフォローアップ調査を行った。

【グローバルマーケティングセミナー】

開催日	会場	テーマ(内容)	参加人数
令和4年11月8日	テクノプラザおかや 及びオンライン	カーボンニュートラル・電動化へ と進む世界自動車産業等	117
令和5年2月20日	テクノプラザおかや 及びオンライン	グローバルビジネスの変化と 行方。海外販路開拓の課題と対 策等	54

(4) ものづくり製品オンライン発信事業(マ)

今後さらに普及・定着が見込まれるオンラインによる事業活動を促し、県内ものづくり企業の販路開拓を支援するために立ち上げたオンラインシステム(テクノリーチナガノ)において、県内製造業の製品・技術を国内外に情報発信するとともに、展示会や商談会の開催により集団等のマッチング支援を行った。

・オンラインシステム(テクノリーチナガノ)

県内受注登録企業数：195社 発注登録企業数：118社(令和5年3月31日現在)

【TDK(株)長野県新技術・新工法展示商談会】

(展示会：オンライン 個別商談会：対面またはオンライン)

開催日	発注企業	受注企業数 (社)	商談件数 (件)	成約額 (千円)
令和4年 8月19日 ～11月30日	TDK(株) 秋田・甲府・海外工場等	50	39件 (会期中)	200千円 (会期中)

【中京圏ビジネスマッチング商談会】(対面またはオンライン)

開催日	発注企業	受注企業数 (社)	商談件数 (件)	成約額 (千円)
令和5年 3月13日 ～3月17日	中京圏(愛知県,岐阜県,三重県)及び静岡県,滋賀県に事業所を有する製造業者	18	132件 (会期中)	100千円 (会期中)

3 消費財販路開拓支援

実績	県産品コーディネーター相談件数 1,649件 (取引あっ旋紹介件数 308件) 国内食品関連商談会商談件数 2,840件 食のグローバル展開推進員相談件数 649件 海外バイヤー招聘商談会商談件数 70件 食品輸出専門展示会商談件数 405件 長野フェア新規参加事業者 8社
----	---

(1) 消費財マーケティング力強化事業(マ)

ア 食品製造事業者等の新商品開発や新たな市場への販路開拓・拡大を支援するため、県内(県庁、飯田、松本)に、販路開拓等に精通した「県産品コーディネーター」3名を配置し、地域資源の掘り起こし、食の「安心・安全」に関するアドバイス、商品化の支援、展示会や商談会の出展支援、商談会出展後のフォローアップ、国内外のバイヤーへの紹介等を行った。

イ 自社商品の販路開拓に意欲のある県内食品製造事業者の中から選定した重点支援事業者(6社)を対象として、県産品コーディネーターによるオンラインセミナーや専門家による商品の求評及びオンラインによる個別相談会を実施し、各社が抱える課題の洗い出しから事業者ごとの課題に応じて商品開発から販路開拓まで一貫して支援を行った。

重点支援事業者	個別面談	商談代行 バイヤー数(人)	商談件数
6社	2回	24	144件

(2) 消費財国内販路開拓支援事業 (マ)

ア 食品製造事業者等の販路開拓を支援するため、「県産品商談会」(長野・岡谷・オンライン)及び「おいしい信州フード発掘商談会」(東京・長野・オンライン)を長野県との共催で開催した。

【県産品商談会】

商談会名	開催日	会場・開催方式	出展者数(社)	バイヤー数(人)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
県産品商談会 (展示商談形式)	令和4年 6月9日	メルパルク長野 (長野市)	66	204	291 (会期中)	59 (会期後 6ヶ月)	9,550 (会期後 6ヶ月)
県産品商談会 (個別商談形式)	令和4年 6月30日	オンライン	3	1	3 (会期中)	1 (会期後 6ヶ月)	50 (会期後 6ヶ月)
県産品商談会 (展示商談形式)	令和5年 1月24日	テクノプラザ おかや (岡谷市)	50	87	140 (会期中)	調査 予定	調査 予定

【おいしい信州フード発掘商談会(対面式)】

商談会名	開催日	会場・開催方式	出展者数(社)	バイヤー数(人)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
おいしい信州フード発掘商談会 in 東京	令和4年 10月20日	ベルサール 渋谷ガーデン (東京都)	76	353	1,153 (会期中)	94 (会期後 3ヶ月)	13,106 (会期後 3ヶ月)

【おいしい信州フード発掘商談会(対面式及びオンライン)】

商談会名	開催日	会場・開催方式	出展者数(社)	バイヤー数(人)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
おいしい信州フード発掘商談会 (フレッシュプラザユニオン)	令和4年 7月13日	工業技術総合センター (長野市) 及び オンライン	35	6	36	18	5,241

【おいしい信州フード発掘WEB商談会】

開催日	実施回数	開催方式	バイヤー数(社)	参加企業数(社)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
令和4年 5月26日 ～ 令和5年 2月24日	全10回	オンライン	10	107	107	17 (12月開 催まで)	6,346 (12月開 催まで)

※令和5年1月～2月開催(2回分)については今後調査予定

イ 食品製造事業者の全国規模での販路開拓に向け、専門展示会及び大手流通事業者が主催する商談会への出展支援を行った。

【専門展示会】

展示会名	開催日	会 場	出展者数 (社)	来場者数 (人)	商談件数 (件)	成立件数 (件)	成立金額 (千円)
第 57 回スーパーマーケット・トレードショー2023	令和 5 年 2 月 15 日 ～17 日	幕張メッセ (千葉県)	30	62,525	930 (会期中)	14 (会期中)	1,600 (会期中)

【大手流通業者主催商談会】

商談会名	開催日	会 場	出展者数 (社)	商談件数 (件)	成立件数 (件)	成立金額 (千円)
三井食品関西メニュー提案会	令和 4 年 4 月 26 日	大阪マーチャンダイズ・マート (大阪府)	3	29 (会期中)	1 (会期後 6ヶ月)	20 (会期後 6ヶ月)
三井食品フードショー2022	令和 4 年 7 月 14 日 ～15 日	パシフィコ横浜 (神奈川県)	3	151 (会期中)	11 (会期後 3ヶ月)	2,030 (会期後 3ヶ月)

(3) 消費財海外販路開拓支援事業 (マ)

食品製造事業者のアジア等の有望市場への販路開拓を支援するため、長野県営業局と連携して次の事業を行った。

ア 食のグローバル展開推進員の配置

食品製造事業者の海外への販路開拓を支援するため、食のグローバル展開推進員（2名）を県内（県庁）及び県外（東京・銀座NAGANO）に配置し、展示会等への出展支援やバイヤー等への紹介、出展後のフォローアップを行った。

イ 海外バイヤー招聘商談会の開催

食品の海外バイヤーを対象としたオンラインによる商談会を開催するとともに、国内に拠点を置く海外企業の国内駐在のバイヤーを長野県に招聘して商談会を開催した。

また、長野県が物流等の分野で連携を進めている沖縄県が沖縄県内貿易商社と海外バイヤーを招聘しオンラインにより商談を行った。

名 称	開催日	開催方式	バイヤー数 (社)	参加企業数 (社)	商談件数 (件)	成立件数 (件)	成立金額 (千円)
第1回海外バイヤー商談会	令和 5 年 1 月 11 日 ～12 日	対面及び オンライン	1	24	24 (会期中)	調査 予定	調査 予定
第2回海外バイヤー商談会	令和 5 年 2 月 15 日 ～16 日	対面及び オンライン	1	13	13 (会期中)	調査 予定	調査 予定
「長野県産品×沖縄国際物流ハブ」海外輸出オンライン商談会	令和 4 年 11 月 15 日	オン ライン	6	15	33 (会期後 3ヶ月)	6 (会期後 3ヶ月)	472 (会期後 3ヶ月)

ウ 食品輸出専門展示会出展支援

食品輸出に特化した専門展示会へ長野県ブースを設置して県内企業への出展支援を行った。

展示会名	開催期日	開催方式	出展者数(社)	バイヤー数(社)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
第6回日本の食品輸出EXPO	令和4年6月22日～24日	対面	5	18,848(来場者数)	334(会期後6ヶ月)	17(会期後6ヶ月)	20,190(会期後6ヶ月)
沖縄大交易会2022	令和4年8月1日～12月23日	オンライン	6	248	43(会期後3ヶ月)	3(会期後3ヶ月)	60(会期後3ヶ月)
沖縄大交易会2022	令和4年11月24日～25日	対面	2	150	28(会期後3ヶ月)	8(会期後3ヶ月)	1,170(会期後3ヶ月)

エ 長野フェアによる販売試行支援

海外のスーパーマーケットが開催した長野フェアにおいて商品の取り扱いを希望する県内企業を募集し販売試行を支援した。新型コロナウイルス感染症の影響により渡航はせず、現地販売員による販売支援を行った。

フェアの名称	開催期日	開催地	参加企業数(社)
マルカイカリフォルニア長野フェア	令和4年6月16日～7月13日	アメリカ(カリフォルニア州)	25
裕毛屋 長野フェア	令和4年9月23日～25日	台湾(台中市)	17

オ 海外展示会への出展支援

アジア諸国の有望市場をターゲットとした海外で開催される食品の展示会への出展を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により取り止めた。

IV 再生・承継支援

1 企業再生支援

実績	支援完了件数 58 件 相談件数 190 件 (事前相談 87 件 + 1 次相談 103 件)
-----------	---

(1) 中小企業再生支援協議会事業 (承)

ア 長野県中小企業再生支援協議会全体会議の開催

事業運営に関わる基本方針策定等のため、全体会議を開催した。

開催日	開催方式	参加者(人)	内容
令和4年6月22日	会議開催	40	令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について

イ 支援業務

中小企業からの事業再生に関する相談を受け付け、再生計画作成支援等を行った。

事前相談件数	87 件
1 次対応件数	103 件
2 次対応開始件数	62 件

収益力改善計画策定完了	30 件
プレ再生計画策定完了	15 件
再生計画策定完了 (うち抜本完了案件)	6 件 (3 件)
再チャレンジ支援完了	3 件
特例リスケ完了	2 件
405 事業移行案件	2 件
【合計】支援完了件数	58 件

再生計画の遂行状況を把握するためのモニタリングを行った。また、再チャレンジの意欲ある経営者に対しては、経営者保証ガイドラインを活用し、円滑な保証債務整理のための支援を行った。

モニタリング実施先数	42 先
経営者保証ガイドライン（一体型）での整理人数	4 人

ウ 広報・普及活動

金融機関及び関係機関等を適宜訪問し、業務遂行状況の報告及び運営上の課題等について意見交換を行ったほか、県内商工会議所が主催する相談会等に参加し、相談対応を行った。金融機関等で構成する信州中小企業支援ネットワーク会議において各種情宣を行った。

訪問・相談・会議	延べ回数
金融機関・関係機関等	109 回
商工団体等	7 回
士業団体等	4 回
信州中小企業支援ネットワーク会議	3 回

(2) 経営改善計画策定支援事業（承）

ア 経営改善計画策定支援

財務上の問題を抱え、金融支援を含む経営改善を必要とする中小企業・小規模事業者が、経営改善計画策定において認定支援機関に依頼して作成する計画の策定費用および計画実行状況に対するモニタリング費用について一部を負担した。

利用申請件数	支払申請件数
64 件	29 件

イ 早期経営改善計画策定支援

資金繰管理や採算管理等の基本的な経営改善の取組を必要とする中小企業・小規模事業者が、早期段階で認定支援機関に依頼して作成する計画費用について一部負担した。

利用申請件数	支払申請件数
30 件	11 件

2 事業承継・引継ぎ支援

実績	事業承継診断実施件数	4,068 件
	第三者承継相談件数	201 件
	親族内承継相談件数	131 件
	第三者承継支援完了件数	43 件
	親族内承継支援完了件数	37 件

(1) 事業承継・引継ぎ支援センター事業（承）

中小企業等の円滑な事業承継・引継ぎ支援のため、事業承継診断に基づく支援ニーズへの対応や、事業承継計画の策定支援、譲渡・譲受希望者のマッチングや助言等の事業承継に向けた各種支援を行った。

ア 事業承継に係る普及広報

地域の金融機関や商工団体等による支援ネットワークを構築して事業承継診断を行い、経営者が事業承継課題に気づく機会提供を行った。また、事業承継に関する問題認識を醸成する各種広報・普及活動を行った。

事業承継ネットワークによる事業承継診断実施件数	4,068 件
事業承継セミナー・講師等実施回数	主催 2 回、講師 4 回
支援機関向け事業承継研修会	31 回実施

イ 事業承継相談と具体的支援

親族内承継、第三者承継の実現に向けた相談を受け、専門家派遣やマッチング支援、各種助言支援などを行うことにより経営資源の次世代への円滑な事業承継・引継ぎを行い、経営資源の有効活用を図るため相談対応と個別支援を行った。普及広報活動の効果に加え経営者交代のピークを迎えていることもあり、第三者承継譲渡相談は 201 件と非常に多かったほか、第三者承継、親族内承継の個別支援を行った結果、合計 80 件の支援完了件となった。

後継者不在第三者承継譲渡相談	201 件
親族内承継相談	131 件
第三者条件譲受相談	131 件
その他相談	21 件
経営者保証解除相談	70 件

第三者承継支援完了件数	43 件
親族内承継支援完了件数	37 件

第4 地域センター事業

地域企業の相談窓口として、本部へのつなぎ連携機能を強化するとともに、地域の特徴や企業ニーズに即した課題解決に向けた諸事業を展開した。

1 長野センター

(1) 相談支援事業

県内企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等について、職員・コーディネーター等による相談支援を実施した。

相談実績	相談支援件数 86 件（企業情報システム本格稼働後の後半 6 か月間のみ）
------	---------------------------------------

(2) 産学官交流事業

地域企業のネットワーク形成と産学官・企業間交流を促進するため、経営者、中堅技術者及び大学等関係者の人的交流の場を提供した。

ア NICE長野コラボネット

開催期日	内 容	参加者
令和4年 5月27日	第1回研究会 講演・会員発表 「水素の可能性とテクノロジー～次世代エネルギーの観点から～」 公立諏訪東京理科大学 准教授 今村友彦 氏 「水素ステーション業界の動向と当社製品の役割」 オリオン機械(株)開発部長 丸山強志 氏	31
令和4年 8月19日	第2回研究会 講演 「カーボンニュートラル時代における水素政策の今後の方向性」 関東経済産業局調査官 真下英也 氏 「ENEOSにおける水素事業の取り組み」 ENEOS(株)水素事業推進部 総括グループマネージャー 横田信之 氏	69
令和4年 11月25日	第3回研究会 水素エネルギー利用システム視察 視察先 ユーグループ「プリズムビル」	50
令和4年 1月20日	第4回研究会 講演・会員発表 「カーボンニュートラルへの取り組み」 三浦工業(株)水素・FC推進課長 福原広人 氏 「わが社のシステム(DX)運用」 飯山精器(株)システム開発部長 佐藤貴宣 氏 「リオン熱学(株) 会社紹介&製品案内」 リオン熱学(株)代表取締役社長 黒岩芳郎 氏	69

イ NICE長野ミニ学会

開催期日	内 容	参加者
令和4年 11月27日	成果発表 信州大学(2名)、長野高専(2名)、地域企業等(4社) 講演「SDGsと信州ジビエ～自然の恵みを持続可能な形で供給するには～」 長野県立大学准教授 小木曾加奈 氏	74

(3) 新産業創出・経営革新支援事業

地域企業における新分野進出や新技術開発など地域産業の新たな展開を支援するため、企業の持つ課題の解決や産学官連携を支援するコーディネート活動を実施した。

また、新産業分野創出のための研究会を創設して事業の企画・運営を行った。

ア コーディネート活動事業

開催期日	内 容	
通年	活動実績	
	・企業訪問などの企業等連携	76 件
	・大学訪問などの談話等連携	97 件
	・主催研究会等	44 件
	・その他研究会等参加	27 件
	・その他	11 件
		計 255 件
活動成果		
・技術シーズ等の紹介	44 件	
・共同研究・実用化等支援	12 件	
・提案公募型助成制度等提案支援状況	0 件	

イ 地域エネルギー利用技術研究会（本部と共同実施）（再掲）

開催期日	内 容	参加者
令和4年 8月19日	第1回研究会（NICE 長野コラボネット 第2回例会と共催） 「カーボンニュートラル時代における水素政策の今後の方向性」 関東経済産業局調査官 真下英也 氏 「ENEOS における水素事業の取り組み」 ENEOS 総括グループマネージャー 横田信之 氏	(55)
令和4年 1月20日	第2回研究会（NICE 長野コラボネット 第4回例会と共催） 「カーボンニュートラルへの取り組み」 三浦工業(株)水素・FC推進課長 福原広人 氏	(69)

ウ 新たな金属積層造形技術研究会（本部と共同実施）

開催期日	内 容	参加者
令和4年 6月8日	第4回研究会 「3Dプリンタを用いた医療機器の課題と今後の展望」 信州大学先バイオメディカル研究所 教授 西村直之 氏 「金属3Dプリンタがもたらす「ものづくり」の変革」 金沢大学設計製造技術研究所 教授 古本達郎 氏	62

エ 新技術探索研究会

開催期日	内 容	参加者
令和4年 7月26日	第1回研究会 講演 「ヒートポンプによる加熱技術の基礎と排熱利用への応用例」 日本エレクトロヒートセンター企画部長 高木茂 氏	37
令和4年 9月28日	第2回研究会 講演 「熱を上手に使う～熱電変換技術の現在地と未来～」 産業技術総合研究所研究チーム長 太田道広 氏	61

開催期日	内 容	参加者
令和4年 12月16日	第3回研究会 講演 「コージェネの基礎と排熱利用」 コージェネレーション・エネルギー高度利用センター 西山隆 氏 「清原工業団地スマエネの実態と将来展望」 東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株) 今出亮一 氏	64
令和5年 2月14日	第4回研究会 講演 「未利用熱エネルギーの有効活用を目指した蓄熱材開発」 信州大学工学部物質化学科 教授 酒井俊郎 氏 「産業排熱の再利用でCO2削減ーヒートポンプの活用についてー」 (株)前川製作所ソリューション事業本部 江原誠 氏	52

オ 地域産業活性化支援事業

開催期日	内 容
令和4年5月11日	しんきんビジネスフェア2022
令和4年10月21日～令和4年10月22日	産業フェア in 信州2022

(4) 共同研究等推進事業

- ア Go-tech 事業の申請にあたり支援を実施した。(1事業)
- イ サポイン事業のフォローアップを実施した。(3事業)

(5) マーケティング支援事業

専門の推進員等を配置し、受発注取引に関する相談、あつ旋、各種商談会・展示会等への出展支援やマッチング等のサポートを行った。

(6) 人材育成事業

地域企業における研究開発及びその成果の早期事業化に資する技術人材の育成を支援し、地域産業の高度化と新産業の創出を促進した。

- ア ハイテクセミナー (本部と共同実施)

開催期日	内 容	参加者
令和4年 9月29日	第1回研究会 講演「認知バイアスの脳科学研究から社会応用へ」 量子科学技術研究開発機構グループリーダー 山田真希子 氏 講演「人びとの安心・安全・自由な移動を支える智能化技 (株)本田技術研究所エグゼクティブチーフエンジニア 安井裕司 氏	61

- イ 応用機械設計研修プログラム

開催期日	内 容	参加者
令和4年5月18日 ～令和4年6月22日 (計4回)	機会設計の基礎実践 (計4回)	延 108
令和5年1月12日 ～令和5年2月2日 (計4回)	幾何公差セミナー (計4回)	延 31

ウ IoT入門基礎研修プログラム（本部と共同実施）

開催期日	内 容	参加者
令和5年2月2日 ～令和5年2月16日（計5回）	IoT 入門基礎研修プログラム（計5回）	延 49

2 上田センター

(1) 相談支援事業

県内企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等について、職員・コーディネーター等による相談支援を行う。

相談実績	相談支援件数 92 件（企業情報システム本格稼働後の後半6か月間のみ）
------	-------------------------------------

(2) 産学官交流事業

大学の准教授や助教を中心とした若手研究者と地域企業の技術幹部との出会いの場を提供すると共に企業間の人的ネットワーク形成に資することを目的に「幹部技術者交流フォーラム」を開催する。

開催期日	内 容	参加者
令和4年 6月28日	第68回フォーラム 講演 「それでもカイコは役に立つ」 信州大学学術研究院繊維学系教授 塩見邦博 氏	10
令和4年 9月8日	第69回フォーラム 講演 「燃焼工学の可能性－環境・安全保護の観点から－」 公立諏訪東京理科大学工学部機械電気工学科 准教授 今村友彦 氏	10
令和4年 11月15日	第70回会フォーラム 視察 ・(株)CricketFarm（茅野市） ・公立諏訪東京理科大学大島研究室、今村研究室	14
令和4年 2月15日	第71回フォーラム 視察 バイオマス発電施設 信州ウッドパワー(株) 講演「ゼロエミッション・水素タウンに向けた水素吸蔵合金 タンク開発と社会実装の取組み」 清水建設(株) 沼田茂生 氏	13

(3) 新産業創出・経営革新支援事業

地域企業における新分野創出や新技術創出など、地域産業の新たな展開を支援するため、コーディネート活動や新産業分野創出のための研究会を企画・運営する。

ア コーディネート活動事業

開催期日	内 容	
通年	活動実績	
	・企業訪問などの企業等連携	231 件
	・大学訪問などの談話等連携	34 件
	・主催研究会等	139 件
	・その他研究会等参加	28 件
	・その他	106 件
		計 538 件
活動成果		
・技術シーズ等の紹介	45 件	
・共同研究・実用化等支援	0 件	
・提案公募型助成制度等提案支援状況	2 件	

イ 地域産業革新活動支援事業

開催期日	内 容	参加者
令和4年9月30日～10月2日	・SAKUメッセ協賛	(全体 3,700)
令和4年10月1日～10月2日	・ぞっこん! さく市協賛	(全体 33,000)
令和4年10月2日～10月22日	・上田地域産業展協賛	(全体 2,811)

ウ 感性応用計測研究会

開催期日	内 容	参加者
令和4年 7月22日	第1回 研究会 講演「物と物との関係性を考える～デザイナーの感覚と数値」 鍋田知宏 氏 (Design Lab. +Ca 代表) 特別講演「お金のかからない研究」法(2) －日常生活における偶然の出会いを大切に－ 藤原孝之 氏 (信州大学大学院特任教授)	23
令和4年 9月12日	第2回 研究会 特別講演「お金のかからない研究」法(2) －日常生活に必要な体力の測定法： 限界体力・最大筋力 vs 生活自立可能な体力－ 藤原孝之 氏 (信州大学大学院特任教授) 話題提供 ・「どうぞ」を伝える自動車用照明の発光パターンの検討 ・映像刺激と照明刺激の色の親和性によるリラックス効果の検証 ・自動車後退用路面描画照明の鮮明さ評価	18
令和4年 11月14日	第3回 研究会 講演「～人生120年時代の『歩行ケア』の普及を目指して～」 野澤秀隆 氏 (マイクロストーン(株) 部長) 特別講演「お金のかからない研究」法(4) －尿失禁と認知症の介入研究における定量解析－ 藤原孝之 氏 (信州大学大学院 特任教授)	15

開催期日	内 容	参加者
令和4年 2月13日	第4回 研究会 特別講演 「研究開発における” T-POP”」 藤原孝之 氏（信州大学大学院特任教授） 話題提供 ・多感覚への刺激呈示によるリラックス亢進効果の検証 ・電気インピーダンス測定による布地の水分移動特性の評価方法に ・機能付与加工された布地が心身に与える影響 ・スマートウェアの開発に向けたリラックスを誘導する熱呈示条件の検討 ・生地水分移動特性が着心地に与える影響	24

エ AI・IoT活用研究会

開催期日	内 容	参加者
令和4年7月15日	第1回研究会 AI事例発表（2社）	12
令和4年9月16日	第2回研究会 AI事例発表（1社） AI実践＋話題提供（データ解析事例発表）	15
令和4年11月4日	第3回研究会 AI実践＋話題提供（画像・テキストマイニング）	10
令和4年1月20日	第4回研究会 AI実践＋話題提供（機械学習）	15
令和4年2月3日	第5回研究会・特別講演 信州大学工学部電子情報システム工学科教授 小林一樹 氏	14

(4) 共同研究等推進

提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援やフォローアップを行った。

(5) マーケティング支援事業

専門の推進員等を配置し、受発注取引に関する相談、あつ旋、各種商談会・展示会等への出展支援やマッチング等のサポートを行った。

(6) 人材育成事業

ア マネジメントシステム改善研究会

開催期日	内 容	参加者
令和4年6月14日	第56回研究会 今後の方針打合せ	11
令和4年9月9日	第57回研究会 講演「マネジメントシステムとSDGs」 LRQA リミテッド	10
令和4年11月24日	第58回研究会 講演「ゴミの分別とリサイクルの法律～家庭のゴミと会社のゴミ～」 小柳産業(株) 環境教育インストラクター 香遠 氏	13
令和4年2月15日	第59回研究会 講演「カーボンニュートラルの全貌と取組み方」 経営支援NPOクラブシニアアドバイザー 森本五百樹 氏	13

イ 若手技術者養成講座

① 機械加工法コース

開催期日	内 容	参加者
令和4年6月8日～ 令和4年7月6日（5回）	講師 国立長野高専テクノセンター 副センター長 市川氏	174
令和4年10月5日～ 令和4年11月2日（5回）	講師 国立長野高専テクノセンター 副センター長 市川氏	80

② IoT 初級コース

開催期日	内 容	参加者
令和4年9月14日～ 令和4年9月28日（3回）	講師 湯浅システム 湯浅正樹 氏	54

③ 制御・IoT 中級コース

開催期日	内 容	参加者
令和4年11月11日～ 令和4年11月25日（3回）	講師 (有)ジェイウインド 小出茂樹 氏	39

ウ 子供科学技術教室（上田ロボコン、佐久軽井沢ロボコン）

開催期日	内 容	参加者
令和4年10月15日、16日、23日、 令和5年3月19日	望月・軽井沢子供科学教室 ロボコン望月教室 ロボコン軽井沢教室	76 22

エ “上田センターハイテクセミナー” シリーズ（本部、長野センターと共同実施）

開催期日	内 容	参加者
令和4年 9月29日	講演「認知バイアスの脳科学研究から社会応用へ」 量子科学技術研究開発機構グループリーダー 山田真希子 氏 講演「人びとの安心・安全・自由な移動を支える知能化技 術」 株式会社本田技術研究所エグゼクティブチーフエンジニア 安井裕司 氏	61

3 松本センター

(1) 相談支援事業

県内企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等について、職員・コーディネーター等による相談支援を行った。

相談実績	相談支援件数 76件（企業情報システム本格稼働後の後半6か月間のみ）
------	------------------------------------

(2) 産学官交流事業

松本地域の地方自治体・商工団体及びその関連機関、県内大学・高専・公設試の関係者及びコーディネーターが一堂に会するアルプス広域コーディネーター連携事業を運営した。また、大学・高専・企業との産学官連携交流事業を本部と連携し共同実施した。

開催期日	内 容	参加者
通 年 (12回)	アルプス広域コーディネーター連絡会議	延 306
令和4年 10月20日	「産学官連携交流会 in 松本 2022」開催 講演者 14名、展示会場におけるパネル展示説明を実施 【基調講演】信州大学副学長 林靖人 氏 【招待講演】信栄食品 代表取締役社長 神倉藤男 氏 【シーズ講演と企業の取組紹介】 [学術と企業の共同発表] ・信州大学とウェルナス、諏訪東京理科大と 36ICT ・長野高専と林エンジニアリングの共同発表 [企業の取組紹介] (4社) ・(株)AB・do、(株)ヤマサ、日本ミクロン(株)、高島産業(株) [産学官共同事例] 信州大学、松本大学	155

(3) 新産業創出・経営革新支援事業

地域企業における新分野進出や新技術開発などの新たな展開を支援するため、技術課題の解決を支援するコーディネート活動をベースとして研究会事業を企画・運営するとともに、他機関と連携して新産業創出に資する事業に取り組んだ。

ア コーディネート活動事業

開催期日	内 容	
通年	活動実績	
	・企業訪問などの企業等連携	143 件
	・大学訪問などの談話等連携	44 件
	・主催研究会等	285 件
	・その他研究会等参加	28 件
	・その他	162 件
		計 662 件
	活動成果	
	・技術シーズ等の紹介	16 件
	・共同研究・実用化等支援	1 件
・提案公募型助成制度等提案支援状況	9 件	

イ アルプスイノベーション研究会事業

対象企業	実施日数	内 容	参加者
(株)サイクス	延 6 日間	社長インタビュー、社員インタビュー、工場見学、意見公開会、検討会等	延 44
(株)エーアイテック	延 5 日間	同上	延 33
(株)ヤマサ	延 7 日間	同上	延 57

ウ 松本地域産業活性化事業

開催期日	内 容	参加者
令和4年2月2日	バス見学会（パシフィコ横浜）	14

エ 中农信自動化支援事業

開催期日	内 容	参加者
令和4年7月4日 ～7月13日 (延6回)	自動化前の工程改善に向けた人材教育 講師 信州ものづくり革新スクール 機械系従業員のための機械制御講座 リレーシーケンスの基礎 シーケンサー（PLC）の基礎 講師 長野県岡谷技術専門学校 中信地域自動化推進ネットワーク SIer 講演会 講師 (株)三明所長 大村豪 氏、 (株)南安精工 代表取締役 小林知之 氏 三和ホテックス(株)代表取締役 沢宏宜 氏	30

オ 「旬」の技術研究会事業（本部と共同実施）

開催期日	内 容	参加者
令和4年10月6日	信州大学スマート在宅治療プロジェクト オンライン講演会	42

(4) 共同研究等推進事業

提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援

(5) マーケティング支援事業

専門の推進員等を配置し、受発注取引に関する相談、あつ旋、各種商談会・展示会等への出展支援やマッチング等のサポートを行った。

(6) 人材育成事業

地域企業における新技術・新製品の研究開発や実用化に資する技術人材の育成やものづくり現場に必要な最新情報の導入支援等により、地域産業の活性化と高度化を促進した。

ア 価値づくりカパワーアップ講座事業

開催期日	内 容	参加者
令和4年7月12日 ～8月9日	「デザイン思考」を学ぶための体験講座（4回コース） 講師 (株)U=NEXUS 代表取締役 上野敏良 氏	36

イ 夏休み親子ものづくり教室事業（開催中止）

ウ 技術者のための実務教育パワーアップ講座事業（今後のあり方を検討）

次年度に向けてテーマ調査を実施した。

エ 地域企業人材挑戦力育成講座

開催期日	内 容	参加者
令和4年 9月29日	「品質管理基礎研修会」 座学 QC的なモノの見方・考え方、データの取り方・まとめ方、QC7つ道具 演習 机上にて「ある作成物」を計測→評価→改善→再計測&評価 講師 セイコーエプソン(株)生産企画本部 金学哲課長、高田圭シニアスタッフ	31
令和4年 12月16日	「加工材料基礎研修会」(半日コース) 座学 加工材料の基礎を学ぶ 講師 セイコーエプソン(株)ものづくり塾技術技能 研修グループ 味澤敏行シニアスタッフ	11

4 諏訪センター

(1) 相談支援事業

県内企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等について、職員・コーディネーター等による相談支援を行った。

相談実績	相談支援件数 19件 (企業情報システム本格稼働後の後半6か月間のみ)
------	-------------------------------------

(2) 産学官交流事業

地域企業のネットワーク形成と産学官交流を促進するため、経営者、技術者、大学等関係者及びコーディネーターの人的交流の場を提供した。

ア 広域産学官交流ネットワーク事業

開催期日	内 容	参加者
令和5年 1月20日	ものづくり企業にとって有用な技術に関する講演会を開催。 「持続可能な社会を目指して見えてきた古典的蓄電池の魅力」 公立諏訪東京理科大学工学部 機械電気工学科 准教授 小川賢 氏 「デジタル計測技術とロボットの融合 -1次元~3次元の信号処理技術の展開-」 中部大学工学部ロボット理工学科 梅崎太造 氏 「アイデアを形にすること」 インダストリーネットワーク(株)代表取締役 大橋俊夫 氏	55

イ 諏訪圏工業メッセ2022事業

開催期日	内 容	参加者
令和4年10月12日	DTF国際ワークショップを開催 ドイツ、スイス、タイの最新技術、情勢を講演。 17社・14機関	54

開催期日	内 容	参加者
令和4年10月13日 ～10月15日	諏訪圏工業メッセ開催。390社・団体出展	—

ウ 圏域内アドバイザー・コーディネーター連携事業

開催期日	内 容	参加者
令和4年6月27日	第1回連絡会議 ・経済産業省の各種施策紹介 ・日本貿易振興機構からの情報提供 ・R4年度長野県の工業施策について ・R4年度諏訪センター事業について ・R4年度ものづくり推進機構事業計画及び諏訪県工業メッセ2022について ・情報交換	27
令和4年9月29日	第2回連絡会議 ・諏訪圏工業メッセ2022開催内容について ・条項交換	30
令和5年3月1日	第3回連絡会議 ・経済産業省支援施策等について ・R4年度の活動報告及びR5年度の事業について ・情報交換	30

(3) 新事業創出・経営革新支援事業

地域企業の技術開発、研究開発に伴う課題解決に必要な、大学・公設試験研究機関等、外部経営資源の効果的活用を支援し、地域企業の新事業・新産業創出を促進した。

また、提案公募型共同研究開発事業などの支援制度の活用について積極的にサポートする。そのために機関・企業の訪問を積極的に行いタイムリーな支援を実施した。

ア コーディネート活動事業

開催期日	内 容	
通年	活動実績	
	・企業訪問などの企業等連携	73件
	・大学訪問などの談話等連携	6件
	・主催研究会等	88件
	・その他研究会等参加	19件
	・その他	0件
		計186件
	活動成果	
	・技術シーズ等の紹介	0件
	・共同研究・実用化等支援	0件
・提案公募型助成制度等提案支援状況	1件	

イ DTF研究開発事業

開催期日	内 容	参加者
令和4年5月19日	第135回全体研究会・定期総会・講演 船井総合研究所シニアコンサルタント 高野雄輔 氏 杏林大学保健学部臨床工学科教授 磯山隆 氏	26
令和4年7月20日	第136回全体研究会・見学 長野県工業技術センター精密・電子・航空技術部門	30
令和4年9月15日	第137回全体研究会・講演 (株)ピーエムティー執行役員 入田亮一 氏	20
令和4年10月12日	DTF 国際ワークショップ・講演（再掲） ドイツ、スイス、タイの最新技術、情報	(54)
令和4年12月1日	第138回全体研究会・見学 (株)ダイヤ精機製作所	14
令和5年1月19日	第139回全体研究会・講演 関東経済産業局からの情報提供 (株)T. Y. M. Solutions 代表取締役 小川透 氏	26
令和5年3月7日	第140回全体研究会・講演 信州大学理学部 特任教授 岩下幸廣 氏	25
通年	幹事会 11回開催 スマートファクトリー分科会 11回開催 医療分科会 5回開催	延 93 延 109 延 27

ウ 材料研究開発事業（材料研究会）

開催期日	内 容	参加者
令和4年7月21日	第1回研究会 講演 (株)小松精機工作所 専務取締役 小松隆史 氏	20
令和4年9月22日	第2回研究会 講演 愛知製鋼(株)ステンレス事業統括部長 中川英樹 氏	14
令和4年12月12日	第3回研究会 講演 BIZYME(株) 代表取締役 金清裕和 氏	23
令和4年2月14日	第4回研究会 講演 KOA(株) 仲村圭史 氏 対象材料の実用化研究：各種材料を入手、評価の継続	21
通年	超微細粒鋼とコバルトクロム合金について実用化研究	—

エ 環境・エネルギー技術研究開発事業（SEE研究会）

開催期日	内 容	参加者
令和4年5月17日	第1回全体研究会 磁歪式振動発電（環境発電）に関する講演会講演 金沢大学電子情報通信学系教授 上野敏幸 氏 大阪大学大学院 工学研究科 環境エネルギー工学専攻准教授 藤枝俊 氏	42

開催期日	内 容	参加者
令和4年11月11日	第2回全体研究会 地熱・地中熱利用の発電・省エネ技術に関する講演 エンジニアリング協会 塩崎功 氏 パワーイノベティブテクノロジー(株) 川内伸之 氏 NPO 地中熱利用促進協会 笹田政克 氏	39
毎月	水処理部会：月1回のペースで4企業3支援機関の参加で、高部実証機を用いたクリプト除去装置の試験を実施	—

(4) 共同研究等推進事業

提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援や運営、フォローアップを行った。

(5) マーケティング支援事業

専門の推進員等を配置し、受発注取引に関する相談、あつ旋、各種商談会・展示会等への出展支援やマッチング等のサポートを行った。

(6) 人材育成事業

地域企業における研究開発及びその成果の早期事業化に資する技術人材の育成を支援し、地域産業の高度化と新産業の創出を促進した。

ア 夏休みこども電子工作・プログラミング教室

6市町村の中学生を対象に、7月27日、8月3日に開催する予定で募集を実施したが、コロナ禍の状況を鑑み中止した。

イ 幾何公差実践研究会

開催期日	内 容	参加者
令和4年7月5日 ～令和4年10月18日 (延12回)	第1回 製図初心者講座1 第2回 製図初心者講座2 第3回 幾何公差方式に関する基本事項講座1 第4回 幾何公差方式に関する基本事項講座2 第5回 形状公差講座1 第6回 姿勢公差講座・演習1 第7回 位置公差・振れ公差講座 第8回 幾何公差の有効な活用方法講座・演習2 第9回 3次元測定器を用いた幾何公差測定の実演・実図面によるグループ討議1 第10回 実図面によるグループ討議2 第11回 実図面によるグループ討議3 第12回 実図面によるグループ討議4	延181

ウ 環境対応技術研究会

開催期日	内 容	参加者
令和4年 6月9日	第1回研究会 省エネ手法の習得講座1 断熱基礎理論、省エネ効果予測計算 講師 省エネコンサルタント 竹村雅志 氏	16

開催期日	内 容	参加者
令和4年 6月17日	第2回研究会 省エネ手法の習得講座2 空調基礎理論、コンプレッサ基礎理論 講師 省エネコンサルタント 竹村雅志 氏	14
令和4年 6月23日	第3回研究会 省エネ手法の習得講座3 生産機械基礎理論、照明基礎理論 講師 省エネコンサルタント 竹村雅志 氏	14
令和4年 7月7日	第4回研究会 MFCA 基礎 MFCA 集計、分析演習 講師 MFCA 研究所 安城泰雄 氏	12
令和4年 7月14日	第5回研究会 環境効率評価 環境効率の概要、製品への環境効率の適用環境効率 環境負荷評価 __LCAの初歩__ 講師 信州大学理学部 特任教授 岩下幸廣 氏	17

エ 品質工学研究会

開催期日	内 容	参加者
令和4年 6月10日 他	品質工学導入講習会 ・パラメータ設計の基本的な考え方 ・MTシステムの基本的な考え方 ・オンライン品質工学の概要 講師 (有)増田技術事務所代表取締役 増田雪也 氏 東京エレクトロンTS(株) 中山博之 氏 信州大学理学部 特任教授 岩下幸廣 氏 ②セミナー2：パラメータ設計基礎セミナー（2日間） 講師 KOA(株) 守谷敏 氏 ③セミナー3：ものづくりにおけるデータ分析基礎セミナー 講師 信州大学理学部 特任教授 岩下幸廣 氏 ④セミナー4：実践交流大会 企業内の実践事例3題 講師 信州大学理学部 特任教授 岩下幸廣 氏	延 44
令和4年 9月1日 ～2日	品質工学パラメータ設計基礎セミナー ・品質工学の考え方 ・パラメータ設計の基礎、計算方法 ・紙飛行機による実習 ・最適化条件の抽出と再現性確認 講師 KOA 株式会社 守谷 敏 氏	14
令和4年 11月9日	ものづくりにおけるデータ分析基礎セミナー 信州大学理学部 特任教授 岩下幸廣 氏	19
令和5年 2月17日	品質工学実践交流大会 事例発表3件 ① (株)サンコー 中村勇人 氏 ② 日置電機(株) 兒玉光 氏、高橋博之 氏 ③ 南信空撮 中西徹 氏 特別講演 信州大学理学部 特任教授 岩下幸廣 氏	32
通年	定例研究会 12回開催	延 161

オ 新商品開発・製品サービス研究会

開催期日	内 容	参加者
令和4年6月21日	第1回 ニーズを踏まえた新商品開発	6
令和4年6月28日	第2回 製品サービス設計の進め方	6
令和4年7月5日	第3回 新商品開発ワークショップ	6
令和4年7月12日	第4回 製品サービス設計	6

5 伊那センター

(1) 相談支援事業

県内企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等について、職員・コーディネーター等による相談支援を行った。

相談実績	相談支援件数 19件（企業情報システム本格稼働後の後半6か月間のみ）
------	------------------------------------

(2) 産学官交流事業

地域企業のネットワーク形成と産学官交流を促進するため、経営者、技術者、大学関係者等の人的交流の場や異業種交流会を開催した。

ア Ina valley ネットワーク構築事業

開催期日	内 容	参加者
令和4年12月8日	南信州産業支援連携会議	8
令和4年12月21日	上伊那地域コーディネーター情報交換会（第1回）	16

イ 伊那谷アグリイノベーション推進機構連携事業

開催期日	内 容	参加者
令和4年5月19日	令和4年度総会	50
令和4年7月11日	第6回薬草・薬木勉強会	29
令和4年7月31日	第19回シンポジウム「食品と健康について」（共催） 講演「食べ物の硬さが体系に及ぼす影響」 甲南女子大学 教授 郡俊之 氏 他4講演、パネルディスカッション	60
令和4年12月9日	研究助成成果発表および各種勉強会活動報告会	25

ウ 次世代経営者による異業種交流会

開催期日	内 容	参加者
令和4年4月26日	令和4年度通常総会	26
令和4年6月17日 他	オンライン工場見学（全3回） ①(有)スワニー、②(株)東信鋼鉄、③(株)マスタ	124
令和4年7月20日	定例会（第1回） 講演会・情報交換会 講演「世界一のチームを目指して30年を振り返って」 元日本電産サンキョースケート部監督 今村敏明 氏	34

開催期日	内 容	参加者
令和4年10月26日	定例会（第2回） 講演会・情報交換会（共催） 講演「利益につながるエネルギー対策」 壬生電気管理事務所 代表 壬生善夫 氏	22
令和5年2月1日 ～2月3日	テクニカルショウヨコハマ2023 共同ブースで出展 4社参加	4
令和5年2月27日	定例会（第3回） 講演会・意見交換会 「上伊那における高卒者の就職状況と支援の取り組み」 伊那職業安定協会 雇用管理委員長 ナパック(株)管理部総務課長 倉本昌幸 氏 「～多様な活躍人材獲得活動に向けてのチャレンジ～ 過去と未来をつなぐ人材獲得と定着のための改革に関して」 サン工業(株)取締役総務人事部長 細田文恵 氏	24
令和5年3月30日	役員会	14

(3) 新産業創出・経営革新支援事業

地域企業における新分野進出や新技術開発など、地域産業の新たな展開を支援するため、コーディネート活動や新産業分野創出のための研究会を企画・運営した。

ア コーディネート活動事業

開催期日	内 容	
通年	活動実績	
	・企業訪問などの企業等連携	154件
	・大学訪問などの談話等連携	39件
	・主催研究会等	103件
	・その他研究会等参加	42件
	・その他	92件
		計 430件
活動成果		
・技術シーズ等の紹介	1件	
・共同研究・実用化等支援	0件	
・提案公募型助成制度等提案支援状況	1件	

イ 信州機能性食品開発研究会

開催期日	内 容	参加者
令和4年5月19日	役員会	15
令和4年6月	令和4年度総会（書面開催）	34
令和4年6月29日	第1回研究会（テーマ「昆虫食の可能性」） 「昆虫食をデザインする」 代替動物起源タンパク資源としての食用昆虫のポテンシャルと持続的生産 九州大学大学院 農学研究院 教授 田中史彦 氏 他2講演、2事例紹介	85

開催期日	内 容	参加者
令和4年9月7日	第2回研究会 「産官学民を巻き込んだ短命県返上の試み」 弘前大学 学長補佐 中路重之 氏 他1講演	52
令和4年10月7日	役員会	9
令和4年12月16日	第3回研究会（テーマ「食と免疫」） 「生体における亜鉛の重要性 ～疾患の発症との 関連・治療/予防への応用～」 鈴鹿医療科学大学 薬学部・大学院薬学研究科 免疫制御学研究室 教授 西田 圭吾 氏 他2講演、1事例紹介	67

ウ 伊那バレー・オープンイノベーション事業

開催期日	内 容	参加者
令和4年5月12日	「パラメーター設計」研修講座（全3回）	延べ39
令和4年5月16日	「なぜなぜ分析」研修講座	21
令和4年5月30日	第30回定例会 各社取り組み案件の報告・情報交換	11
令和4年5月31日	「SPC・MSA・シックスシグマ」研修講座	8
令和4年8月8日	「MT法」研修講座	8
令和4年9月9日	第31回定例会 取り組み案件の報告・研修実施報告	10
令和4年10月5日	「FMEA」研修講座 *全4回	延べ35
令和4年12月7日	第32回定例会 研修結果報告・案件進捗報告	14
令和5年3月3日	第33回定例会 改善課題の抽出整理と活動方針検討	13

エ スマート看護・福祉研究会

開催期日	内 容	参加者
令和4年8月9日	第53回定例会 介護用椅子の商品化に向けた検討	9
令和4年12月14日	第54回定例会 介護用椅子の商品化状況報告、テーマ検討	8
令和5年2月28日	第55回定例会 小児歩行用下肢装具の製品開発検討	14
令和5年3月6日	価値観を変えるプロダクトデザインセミナー (株)exii design 代表取締役 小西哲也 氏	19

(4) 共同研究等推進事業

提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援や運営、フォローアップを行った。

ア 提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業（2事業）

イ 提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業

制度名	テーマ名 [研究機関]	所管省庁等
戦略的基盤技術 高度化支援事業	超精密膜厚制御による放射光施設用フリーフォーム型X線ミラーの開発 [夏目光学(株)、東京大学]	経済産業省 関東経済産業局

ウ 提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業（7事業）

(5) マーケティング支援事業

専門の推進員等を配置し、受発注取引に関する相談、あつ旋、各種商談会・展示会等への出展支援やマッチング等のサポートを行った。

(6) 人材育成事業

地域企業における研究開発及びその成果の早期事業化に資する人材の育成を支援し、地域産業の高度化と新産業の創出を促進した。

ア 地域産業活性化支援事業

以下の通り参画し、地域の産業振興や地域の将来を担う人材育成等に取り組んだ。

(ア) 郷土愛プロジェクト全体会議および委員会（全6回）

(イ) 伊那市新産業技術推進協議会（全7回）

(ウ) 伊那市商工業振興審議会（全2回）

イ NICEハイテクセミナー（本部と共同実施）

開催期日	内 容	参加者
令和5年 2月20日	自動車産業動向セミナー 「電動化自動車（xEV）の最新技術動向」 ①名古屋大学未来材料・システム研究所 教授 山本真義 氏 ②KOA(株)技術イニシアティブ技術戦略センター プロフィットマネージャー 西澤克秀 氏 ③富士電機(株)半導体事業本部開発統括部 パッケージ開発部先行開発課長 池田良成 氏	90

ウ 製造力強化活動支援事業

開催期日	内 容	参加者
令和4年 8月25日	IE 講座（工程改善セミナー：導入編） E&E Solutions 代表 相吉 一浩 氏	42
令和4年 9月26日	先進企業見学会 訪問先：ケミコン長岡株式会社	18
令和4年 10月13日 10月20日	IE 講座（工程改善セミナー：実践編） E&E Solutions 代表 相吉一浩 氏	17

エ リサイクルシステム研究会

開催期日	内 容	参加者
令和4年 4月18日	定例会（第1回）	15
令和4年 6月23日	自然エネルギー活用先進地視察（山梨県） ① 米倉山水素技術センター、②（株）キッツ水素 ステーション、③浅穂堰小水力発電所	13
令和4年 7月29日	定例会（第2回）	14
令和4年 7月～8月	親子で水質調査実施	40

開催期日	内 容	参加者
令和4年10月23日	自然エネルギーの地産地消と地域再生セミナー 講演「再生可能エネルギーによる地域再生」 京都大学大学院 経済学研究科 諸富徹 氏 講演「自然エネルギーを活用したまちづくり」 滋賀県湖南市役所 環境政策課 地域エネルギー室課長 池本未和 氏	52
令和4年10月26日	省エネルギー対策セミナー (共催) 講演「利益につながるエネルギー対策」 壬生電気管理事務所 代表 壬生善夫 氏	9
令和4年11月5日 ～11月6日	南信州環境メッセ2022 出展	50
令和4年11月15日	自然エネルギー活用先進地視察(県内) 駒ヶ根高原小水力発電所 南信州菓子工房バイオガス発電	10
令和4年11月30日	定例会(第3回)	15
令和5年2月15日	定例会(第4回)	16
令和5年3月9日	エネルギー有効利用セミナー 「エネルギー使用最適化の『いま』と『これから』」 (一財)省エネルギーセンター 省エネ技術本部省エネ技術センター 総括主幹 鈴木伸隆 氏	21

オ 子ども科学工作教室

地区	名称	開催期日	内 容	会場	参加者
下伊那地区	令和4年度子ども科学工作教室(キッド配布)	令和4年11月12日	プログラミングロボ、スペースロボ、天体望遠鏡、燃料電池4WDカー	キッド配布	29
上伊那地区	第22回上伊那子ども科学工作教室	令和5年2月4日	「赤外線センサーで人についてくる“センサーロボ”を作ってみよう！」	伊那市役所多目的ホール	125